

# 日本気象学会 2017 年度秋季大会

## 出展・リクルートブース開設・協賛・協力企業・団体等一覧

今大会の開催にあたり，以下の企業・団体からご出展・リクルートブースご開設・ご協賛・ご協力を頂きました（2017年8月18日現在；50音順）。厚く御礼申し上げます。

**英弘精機株式会社\***

**株式会社気象工学研究所+**

**株式会社日本エレクトリック・インスルメント**

**株式会社ニューテック\***

**北極域研究推進プロジェクト（ArCS）**

**（五十音順）**

\*は会場内に併設されるブースにて展示を行う予定の企業・団体です。

+は会場内に併設されるリクルートブースを設ける予定の企業・団体です。

# 日本気象学会 2017 年度秋季大会

会期：2017年10月30日（月）～11月2日（木）

会場：北海道大学 学術交流会館（他：同 クラーク会館）

札幌市北区北8条西5丁目（他：札幌市北区北8条西8丁目） <http://www.hokudai.ac.jp/>

大会実行委員会担当機関：北海道大学，札幌管区気象台，日本気象協会北海道支社，酪農学園大学

大会委員長：長谷部 文雄（北海道大学大学院地球環境科学研究院）

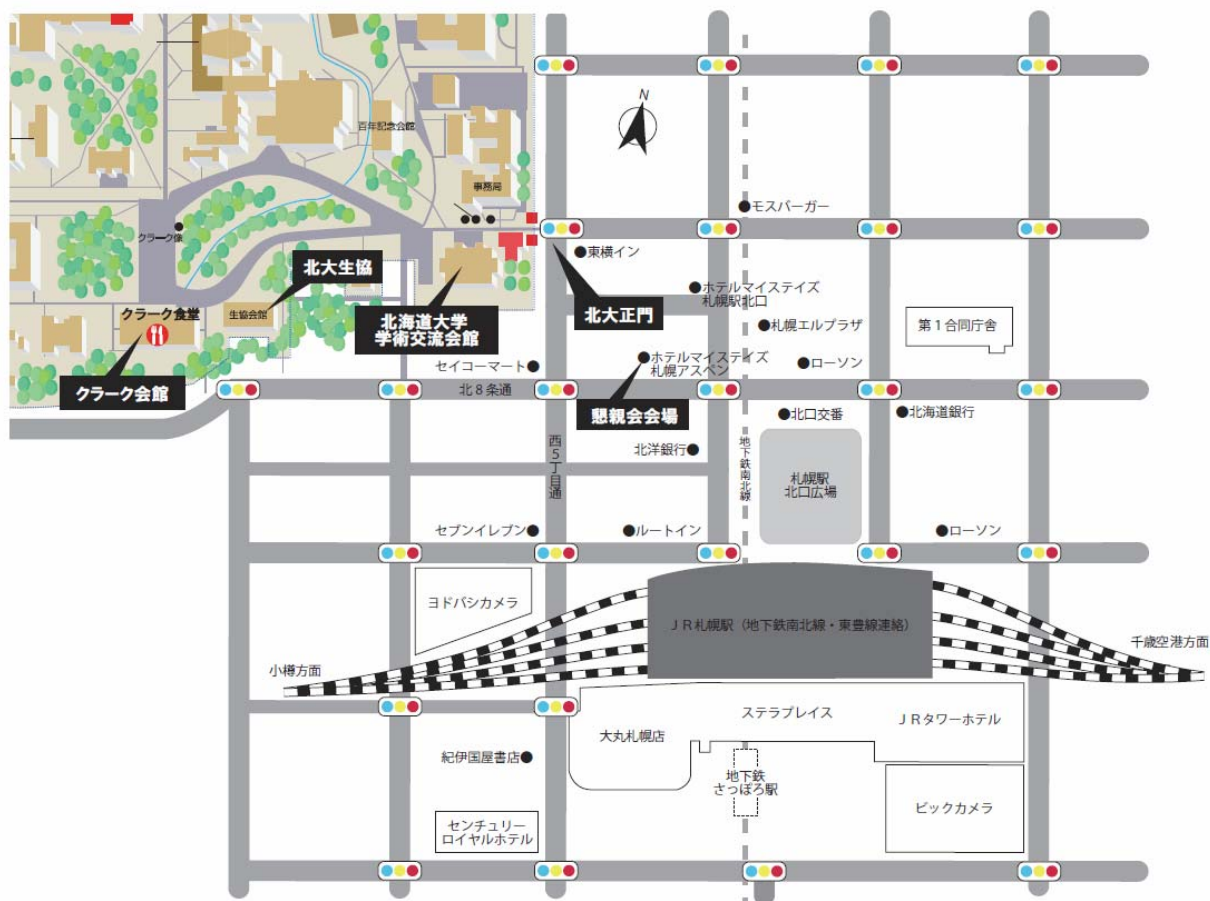
当日の会場への連絡先：北海道大学 学術交流会館 会館事務所（電話：011-706-2141）

北海道大学（代表：011-716-2111）

## 交通の案内：

1. 新千歳空港からJR札幌駅まで  
快速エアポートが15分間隔で運行，所要時間37分，料金1,070円
2. JR札幌駅から北海道大学学術交流会館まで  
徒歩5分（JR札幌駅西改札口を出て右側の駅北口から）

## 会場案内図



# 大会行事予定

A 会場 : 学術交流会館 講堂  
 B 会場 : 学術交流会館 小講堂  
 C 会場 : 学術交流会館 第1会議室  
 D 会場 : クラーク会館 講堂  
 ポスター会場 : 学術交流会館 ホール (1階)

シンポジウム・授賞式会場: 学術交流会館 講堂  
 受付 : 学術交流会館 ホワイエ (2階)  
 大会事務局 : 学術交流会館 第2会議室  
 懇親会 : ホテルマイステイズ札幌アスペン (旧・札幌アスペンホテル)

( ) 内は講演数と講演番号

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月 30日 (月)	09:15～ 11:00	雲物理 (8, A101～A108)	観測手法 I (7, B101～B107)	中高緯度大気 ・相互作用 I (8, C101～C108)	気候システム I (8, D101～D108)
	11:00～ 12:00	ポスター・セッション (73, P101～P173)			
	13:00～ 18:00	専門分科会 「再生可能エネルギーなどの気象観測・予測情報の気象ビジネスへの利活用」 (16, A151～A166)	降水システム I (23, B151～B173)	専門分科会 「惑星大気研究の今: 観測, 数値モデリング, 理論」 (17, C151～C167)	専門分科会 「大規模アンサンブル気候実験を用いた新しい研究の展開」 (18, D151～D168)
10月 31日 (火)	09:15～ 12:00	降水システム II (12, A201～A212)	物質循環 I (12, B201～B212)	データ同化 I (11, C201～C211)	気候システム II (12, D201～D212)
	13:00～ 14:00	ポスター・セッション (73, P201～P273)			
	14:00～ 14:40	堀内賞・正野賞・山本賞・奨励賞授与			
	14:45～ 17:00	堀内賞・正野賞・山本賞受賞記念講演			
	18:00～ 20:00	懇親会			
11月 1日 (水)	09:15～ 12:30	大気境界層 (10, A301～A310)	観測手法 II (15, B301～B315)	データ同化 II (7, C301～C307)	気候システム III (15, D301～D315)
		環境気象 (5, A311～A315)		気象予報 (8, C308～C315)	
	13:30～ 14:30	ポスター・セッション (73, P301～P373)			
	14:45～ 17:15	シンポジウム「北極域」			
11月 2日 (木)	09:15～ 12:00	中層大気 (5, A401～A405)	物質循環 II (12, B401～B412)	中高緯度大気 ・相互作用 II (7, C401～C407)	台風 I (12, D401～D412)
		大気放射 (6, A406～A411)		大気力学 (5, C408～C412)	
	13:00～ 17:00	専門分科会 「気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて」 (13, A451～A463)	専門分科会 「気象とくらし～北の大地からのイノベーション～」 (13, B451～B463)	専門分科会 「気象や気候の変化は人の健康にどのような影響を及ぼすかー生気象学の知見を共有するー」 (12, C451～C462)	台風 II・熱帯大気 (18, D451～D468)

発表件数 : 534 件 (専門分科会 89, 一般口頭発表 226, ポスター219)

当大会予稿集に掲載された著作物については、以下の規程「日本気象学会の刊行物に掲載された著作物の利用について ([http://www.metsoc.jp/teikan/MSJ\\_kitei\\_copyrightpolicy.pdf](http://www.metsoc.jp/teikan/MSJ_kitei_copyrightpolicy.pdf))」に準じます。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (E-mail: kouenkikaku2017a@mri-jma.go.jp) まで。

## 講演の方法

### 一般口頭発表・専門分科会

- ・ 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 12 分 (講演 10 分・質疑 2 分) です。
- ・ 専門分科会の発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- ・ 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- ・ 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
  - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクター、VGA ケーブルおよび HDMI-VGA 変換アダプタを準備します。VGA (ミニ D-sub15 ピン)、あるいは HDMI (フルサイズ) コネクタを装備した PC が使用できます。
  - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
  - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファ

イルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

### ポスター発表

- ・ 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ・ ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦 180 cm × 横 90 cm 程度となっています (ただし、足元からパネルが立ち上がる点に注意)。
- ・ ポスターの掲示には画鋏を使用して下さい。画鋏は会場に用意します。
- ・ ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守でお願いします。
  - ✓ 第 1 日の発表者は 10 月 30 日 09:00~17:00
  - ✓ 第 2 日の発表者は 10 月 31 日 09:00~17:00
  - ✓ 第 3 日の発表者は 11 月 01 日 09:00~17:00
- ・ ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

---

## 保育施設の紹介について

大会期間中の会場近隣の保育施設に関する情報は、下記より提供します。

〒065-0010 札幌市東区北 10 条東 2 丁目 3-18 三上ビル  
株式会社ジー・プロモーション・担当 川村  
Tel : 011-768-7814  
E-mail : kawamura@g-promotion.jp

ただし、左記は情報提供のみであり、保育施設への申し込みは利用者個人で行って下さい。また、補助は保育支援ガイドライン (<http://jinzai.metsoc.jp/content.html>) に則りますので、補助申し込み以降の手続きは学会事務局にお問い合わせください。

---

## 大会実行委員会からのお知らせ

- ・ 昨今、札幌では観光客が急増しています。宿泊先は各自でお早めに確保してください。また、大会実行委員会の窓口は事務局長・稲津 ([inaz@sci.hokudai.ac.jp](mailto:inaz@sci.hokudai.ac.jp)) となっております。他の実行委員に個別に照会するのは極力、避けてください。
- ・ 前納受付者には大会参加票、ネームホルダー、大会ハンドブックの 3 点を事前に送付いたします。前納受付者は、懇親会追納などのご要望や、同封物の不備がない限り、大会当日、会場の受付にお立ち寄り頂く必要はありません。直

接、講演会場にお越しください。なお、大会参加中は、受付がお済みであることを明示するため、領収証を切り離れた大会参加票をネームホルダーに入れてご呈示ください。

- ・ 大会実行委員会が発行する大会参加費および懇親会費の各領収書は、税法上認められた実務上の証拠書類となる正式なものです。原則、これらを手書きの領収書に改めることは認めませんので、ご了承ください。

---

## シンポジウム「北極域」

日時：大会第 3 日 (11 月 1 日) 14:45~17:15

会場：北海道大学 学术交流会館 講堂 (大会 A 会場)

司会：堀之内 武 (北海道大学大学院地球環境科学研究院)

※シンポジウムの聴講は無料です。一般の方も参加できます。

## 趣旨

近年、北極域が顕著に温暖化していますが、この傾向はしばらく続くと考えられています。それは地球温暖化の結果であり、極域の環境に大きな影響を与えていると同時に、それが中緯度、さらに全球に与える影響も注目されています。北極域は注目度の高い領域であり、気象学会のシンポジウムでも何度か取り上げられていますが、時折振り返り、現状を確認し、最新の研究をもとに議論し、今後について考えることは有意義でしょう。

本シンポジウムでは、まず海水の役割と最近の研究について概説していただいた後、北極温暖化増幅のメカニズムと成層圏まで含めた北極と中緯度の関係をお話していただきます。さらに、グリーンランド、シベリア等、陸域にも目を広げます。最後の総合討論もあわせて、北極域の気候と気象にかかわる、気・水・地圏の総合的な現状認識と今後の展望が共有できることを期待しています。

## プログラム

### 1. 「海水の気候変動における役割：北極海 vs. 南極海」

大島 慶一郎（北海道大学低温科学研究所）

### 2. 「北極温暖化増幅のメカニズムと将来予測」

吉森 正和（北海道大学大学院地球環境科学研究院）

### 3. 「北極-中緯度気候結合における成層圏過程」

中村 哲（北海道大学大学院地球環境科学研究院）

### 4. 「グリーンランド氷床における近年の急激な雪氷質量損失—現地観測と数値モデルによるメカニズム理解の試み—」

庭野 匡思（気象庁気象研究所）

### 5. 「北東ユーラシアの「大気-植生-凍土-河川」システムの現在と将来」

檜山 哲哉（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

総合討論

---

## 専門分科会の概要紹介

### 気象や気候の変化は人の健康にどのような影響を及ぼすか —生気象学の知見を共有する—

日時：大会第4日（11月2日）13:00～17:00

場所：C会場

趣旨：気象や気候の極端な変化に起因する健康被害が、世界各地で報告されている。熱波の襲来による高温現象は、インドなど低緯度地域に限らず、ヨーロッパのような暑さに日常馴化していない高緯度まで、熱中症の甚大な被害をもたらす。冬季における寒波の襲来は、数時間で起こる気温の急変によって急性の呼吸器疾患や循環器疾患の誘因となり得る。一方、長期的な気候の変化は、デング熱やインフルエンザなど感染症の変異や拡大のきっかけになる恐れも懸念されている。生気象学の分野では、その健康影響や実際の被害を生理学的・疫学的に明らかにし、特定の環境曝露を想定した健康リスクを評価・予測している。このような生気象学に関連する講演を募集し、気象や気候変化の健康影響に関する重要な知見について気象学会でも共有することを目的とする。

世話人：大橋唯太（岡山理科大学）、寺尾徹（香川大学）、日下博幸（筑波大学）、井原智彦（東京大学）、鈴木パーカー明日香（立正大学）

### 気象と暮らし～北の大地からのイノベーション～

日時：大会第4日（11月2日）13:00～17:00

場所：B会場

趣旨：古来より、気象はその地域に住む人々に影響を与え、独自の文化を育む重要な要素となっている。特に、日本の最北に位置する北海道は、独特な気象条件を有し、多くの

恵みと共にしばしば気象災害をもたらしてきた。近年では、急速な科学技術の進歩の恩恵を受けて、気象情報のみならず人々のくらしは高度化かつ多様化しているが、それらを有機的に結びつけることで、新たな取り組みや未知の発見など、大小を問わずイノベーションが生まれる土壌が備わっていると考えられる。本セッションでは、様々な気象現象と、防災、食、農林水産、インフラ、観光、小売り、教育など様々な「くらし」を組み合わせた取り組み、研究、考えなどについて気象予報士、実務者、研究者等から幅広く発表内容を募集します。天気に生活が左右されることが多い北海道で「気象とくらし」をテーマにそれぞれの立場からの発表を通じて情報共有し、北の大地からのイノベーションを発信したい。

世話人：和田直人（日本気象予報士会）、根本学（日本気象予報士会）、原田裕介（日本気象予報士会）、志田昌之（日本気象予報士会）、森山知洋（日本気象予報士会）、岩田修（日本気象予報士会）、荒川知子（日本気象予報士会）、岡田登志恵（日本気象予報士会）

### 大規模アンサンブル気候実験を用いた新しい研究の展開

日時：大会第1日（10月30日）13:00～18:00

場所：D会場

趣旨：近年の計算機の能力向上に伴い、「地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース (d4PDF)」のように気候モデルによる大規模アンサンブル実験が行われるようになった。多数のアンサンブル実験結果は、気候変動・変化の不確実性についての確率的な表現、最近発生し

た極端事象に対する温暖化の寄与の検出(イベント・アトリビューション)、低頻度でしか発生しない事象の気候変動影響の評価、年々変動に対する外部要因と内部変動の分離など、さまざまな研究での利用が考えられる。本専門分科会では、全球規模の気候から国内外の地域気候、およびその温暖化影響評価に至るまで、大規模アンサンブル気候実験の様々な視点での利用事例に関する講演を募集する。そして参加者の議論を通じて、新しい知見と今後の課題を共有することを目的とする。

世話人：水田亮(気象研究所)、塩竈秀夫(国立環境研究所)、森正人(東京大学先端科学技術センター)、渡辺真吾(海洋研究開発機構)、川瀬宏明(気象研究所)

## 気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて

日時：大会第4日(11月2日)13:00~17:00

場所：A会場

趣旨：地球温暖化に伴い、気温はほぼ全球で上昇するが降水は地域差のある複雑な変化をすると指摘されている。特に日本・東アジア域は、ユーラシア大陸と太平洋に挟まれ、大陸と海洋、中緯度と熱帯の多方面からの影響を受けるため、気候変化に対する気象の応答の理解は容易でない。近年の日本では、2014年2月に南岸低気圧が甲府に前代未聞の大雪を、8月に広島市の豪雨が甚大な被害をもたらした。2015年9月に常総市で広域の洪水がおきた。気候変化は雨の降り方を変えているのだろうか。本分科会では、気候変動に伴う大循環の変化と日本・東アジア域での降水変化との関係について理解を深めるため、研究成果を持ち寄り議論する。気候モデル実験、気象・衛星観測、水同位体比、全球雲解像モデル出力データ等を利用した研究、海洋、成層圏、北極圏、対流圏上部を含めた大循環の変化が東アジア域の降水に及ぼす影響のメカニズム研究などの投稿を歓迎する。

世話人：高薮縁(東京大学大気海洋研究所)、尾瀬智昭(気象庁気象研究所)、中村尚(東京大学先端科学技術研究センター)

## 再生可能エネルギーなどの気象観測・予測情報の気象ビジネスへの活用

日時：大会第1日(10月30日)13:00~18:00

場所：A会場

趣旨：気象観測・予測情報は、古くから防災・農業・雪氷分野などにおいて広く活用されてきた。近年は、固定価格買い取り制度(FIT)に起因する太陽光・風力発電の大量導入に伴い、再生可能エネルギーからの出力の把握や予測に

気象情報の利活用が期待されている。それ以外では、保険・物流等の社会経済活動の中でも広く気象情報は利用されている。しかし、気象情報を必要としている応用分野は増加しているが、多様な分野の研究者・民間企業等を交え議論する場は少ない。このような状況の中で、2017年4月から気象庁において気象ビジネス推進コンソーシアムが立ち上がり、気象情報の需要やその利活用の方法が検討され始めている。そこで本セッションでは、気象情報の活用のための基礎的な研究から活用事例の紹介まで、再生可能エネルギーだけでなく分野を問わず幅広く講演者を募り、気象情報の今後の利活用方法について様々な視点から議論し、要望・提言なども頂きたい。また、セッション終了後に意見交換を行うための場を設けることを検討しており、興味のある方には積極的に参加頂き、活発な交流・議論を行いたい。

世話人：宇野史睦(産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター)、大竹秀明(産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター)、島田照久(弘前大学大学院理工学研究科)、野原大輔(電力中央研究所環境科学研究所)、宇田川佑介(構造計画研究所/東京大学生産技術研究所)、早崎宣之(伊藤忠テクノソリューションズ)、山口浩司(日本気象協会)、中島孝(東海大学)

## 惑星大気研究の今：観測、数値モデリング、理論

日時：大会第1日(10月30日)13:00~18:00

場所：C会場

趣旨：20世紀後半に、太陽系諸惑星の大気現象を考察することから出発した惑星大気科学は、各惑星の探査の進展、数値モデリングの本格化、地球流体力学の理論の深化、太陽系・惑星進化との関わりでの認識を経て多方向に発展してきたが、現在、数百を超える太陽系外惑星の発見を迎えて、さらに対象と問題意識を広げつつある。最近では、地球に似た太陽系外惑星7つが一気に発見され注目を集めた。一方、2015年12月に金星周回軌道に投入された「あかつき」は、多波長での撮像観測を通して、これまで知られていなかった金星大気の様子を次々に明らかにしつつある。

この専門分科会では、観測、数値モデリング、理論のあらゆる面で惑星大気の研究の最新の研究成果の発表を募集する。多様な研究を通じ、惑星大気科学の到達点と将来の課題を展望する。

世話人：堀之内武(北大・地球環境)、中島健介(九大・理)はしもとじょーじ(岡山大・理)、今村剛(東大・新領域)、高橋芳幸(神戸大・理)

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 第48回メソ気象研究会・気象災害委員会研究会

日時：2017年10月29日(日)大会前日 13:00~17:00

場所：B会場(学術交流会館 小講堂)

コンピーナー：佐藤 友徳(北海道大学)

テーマ：「2016年に東北・北海道へ上陸した台風とその気候学的意味」

内容：記憶に新しい2016年の夏には、複数の台風が北日本に接近または上陸し、東北地方や北海道地方に甚大な被害をもたらしました。台風10号(Lionrock)は日本の東の太平洋上を北上したのち東北地方北部に上陸するという特徴的な経路をとりました。またこれと前後して、同年8月には僅か数日の期間に3個の台風が立て続けに北海道付近を通過し、記録的な降水量により多方面に及ぶ被害が生じています。このように2016年夏の台風はこれまでにない珍しい特徴を呈しており、観測データや過去の災害経験に基づいて計画されてきた従来の気象災害対策に対して、大きな転換の必要性を迫るきっかけとなりました。

本研究会では、このような特徴的な台風の挙動や災害をもたらした気象場の特徴を共有し、様々な視点から現象の理解を目指します。さらに、北海道や東北地方に極端な降水をもたらす台風の活動に対して、地球温暖化に伴う気候変動がどのように寄与するのかについて、データ解析や数値実験の結果をもとに議論します。また、気象学の研究で得られた知見を、どのように将来の災害対策へ活用すべきか議論します。

プログラム：(発表25分+質疑10分)

13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明(佐藤)

13:10-13:45「2016年に北海道・東北を襲った台風の降水特性」山田朋人(北海道大学)

13:45-14:20「擬似温暖化実験による2016年台風第7号およびそれともなう雨の将来変化予測」金田幸恵(名古屋大学)

14:20-14:55「台風通過頻度の統計解析からみた2016年台風」横井 覚(海洋研究開発機構)

休憩

15:10-15:45「2016年台風発生環境場と台風ハザードマップ」筆保弘徳(横浜国立大学)

15:45-16:20「北海道地方における気候変動予測を踏まえた超過洪水対策の取組」時岡真治(北海道開発局)

16:20-16:50 総合討論

世話人：坪木和久(名大宇地研)、加藤輝之(気象研究所)、小倉義光(東大大気海洋研)

連絡先：坪木和久(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

E-mail：tsuboki@nagoya-u.jp

## 極域・寒冷域研究連絡会

日時：2017年10月30日(月)(大会第1日)セッション終了後2時間程度

場所：B会場(学術交流会館 小講堂)

テーマ：「数十年スケールで見る環オホーツク域の海水研究」

趣旨：北半球において海水が最も南にまで張り出すオホーツク海は、北極と中緯度との境目として、そして季節海水の影響が周辺領域に大きな影響を及ぼす特徴的な地域として知られています。オホーツクにおける海水変動が北太平洋のアリューシャン低気圧の強弱に関係しているという大スケールの変動、海水それ自体の変化による熱収支・放射収支の変動、そして流氷の有無による北海道沿岸の人々の生活・観光資源への影響など、この小さな海は科学的にも社会的にも大きな意味をもっています。本研究会では、長年オホーツク海において砕氷

巡視船「そうや」を用いた観測的研究をされてきた豊田威信氏(北大)、オホーツク海の海水・海洋の十年規模変動を研究しておられる中野渡拓也氏(極地研)、ならびに紋別市役所の岩本勉之氏をお迎えして、環オホーツク海における季節海水の長期変動の影響について多角的な視点から議論します。学会参加者からの話題提供も期待しておりますので、ご希望の方は下記連絡担当者またはお近くの極寒連関係者にお声掛けください。

プログラム：

1. 趣旨説明
2. 「オホーツク海やその周辺海域における海水と海洋の十年規模変動」  
中野渡拓也(極地研)
3. 「砕氷巡視船「そうや」を用いたオホーツク海水観測研究」  
豊田威信(北大低温研)
4. 「紋別市によるオホーツク海研究への取り組み」  
岩本勉之(紋別市役所/北大院水)

連絡先：堀 正岳(海洋研究開発機構)

E-mail：mehori@jamstec.go.jp

## 統合的陸域圏研究連絡会

日時：2017年10月30日(月)(大会第1日)セッション終了後2時間程度

場所：C会場(学術交流会館 第1会議室)

テーマ：「近年の気候変動に伴った大気陸面相互作用の変化」

内容：20世紀後半以降の気候変化(ベースラインの変化と極端事象の増大)は顕著であり、例えば、全球平均地表気温の2001~2010年平均値は、1961~1990年平均値と比べ約0.5°C上昇している。このような気候変化に伴って、大気陸面間相互作用にも大きな変化が生じているという報告が多く得られている。その一方で、衛星リモートセンシングや地上観測から得られた各種のデータは充実し、また様々なモデルが利用可能となるなど解析手法も大きな発展を遂げている。今回の研究会では、近藤雅征氏(千葉大学・CEReS)、佐藤友徳氏(北海道大学・環境)、山田朋人氏(北海道大学・工学)の3名を話題提供者に招き、近年の気候変動に伴った大気陸面相互作用の変化について、これまでに分かってきたこと、それを踏まえて、大気陸面相互作用メカニズムの解明や気候変動予測を押し進める上で今後何が必要であるかについて議論したい。

連絡先：佐藤 永(海洋研究開発機構)

E-mail：hsato@jamstec.go.jp

## 第2回気象学史研究会

日時：2017年11月1日(水)(大会第3日)17:30-19:30

場所：C会場(学術交流会館 第1会議室)

テーマ：「北海道初期の気象観測」

内容：わが国最初の気象官署は1872年(明治5年)に開拓により函館に設立されたものとされています。また国内初の開港場であった函館ではそれ以前の幕末期にも来日した外国人による気象観測が行われています。このように特徴的な北海道の初期の気象観測について、財部氏からは御雇米国人による米国の観測法導入と明治期気象事業への発展過程について、財城氏からは幕末期ロシア人による観測データの発掘とそれを利用した気候復元についてご紹介いただきます。

本会合は気象学史研究に関心を持つ、より多くの方の間の情報・意見交換をうながすため、学会員以外の方にも広く参加を呼びかけて開催いたします。

**プログラム：**

「明治初期北海道における気象観測：御雇米国人の活動を中心に」

財部香枝（中部大学）

「19世紀の在箱館ロシア領事館における気象観測記録」

財城真寿美（成蹊大学）・三上岳彦（帝京大学）

**連絡先：**山本 哲（気象研究所）

TEL 029-853-8615 FAX 029-855-7240

メールでのお問い合わせは気象学史研究連絡会ウェブサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

<https://sites.google.com/site/meteorolhistoryjp/>

---

## 2018 年度春季大会の予告

2018 年度春季大会は、2018 年 5 月 16 日（水）～19 日（土）につくば国際会議場で開催される予定です。大会告示は「天気」12 月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは 2018 年 2 月頃となる予定です。



A 会場

雲物理

座長 : 佐藤 陽祐 (名大工)

- A101 村上 正隆 (名大宇地研) 大気エアロゾルが雲・降水過程に及ぼす影響解明に関する研究  
— 研究計画概要 —
- A102 田尻 拓也 (気象研) 偏光機能を付加したエアロゾル・雲粒子センサーによる氷晶計測
- A103 當房 豊 (極地研) スバルバル諸島・ニーオルスンでの氷晶核の計測：2016年7月の事例
- A104 郭 子仙 (気象研) Investigation on CCN/IN abilities of  $Al_2O_3$  and  $Fe_2O_3$  using cloud simulation chamber and parcel model
- A105 Jung WoonSeon (名大ISEE) Precipitation efficiency over the United Arab Emirates from numerical simulations with CReSS model
- A106 國嶋 雄一 (JAMSTEC) 準1次元空間内の降水過程に対するフルラグランジアン粒子追跡計算
- A107 齋藤 泉 (名工大院工) 乱流中におけるエアロゾルからの雲粒子生成
- A108 佐藤 陽祐 (名大工) 全球モデルにおける雲・エアロゾル相互作用の放射強制力の見積もり～全球雲解像モデルとGCMの比較～

大会第1日 [ 10月30日(月) ] 9:15~11:00 一般口頭発表

## B 会場

### 観測手法 I

座長 : 永尾 隆 (JAXA)

- B101 菊池 麻紀 (JAXA) CloudSat/CPRとCALIPSO/CALIOPの複合利用による雲・降水粒子タイプ識別アルゴリズムの開発と全球統計解析
- B102 大野 裕一 (NICT) 雲レーダ(RASTA)による海面エコーのドップラ速度の解析
- B103 永尾 隆 (JAXA/EORC) 雲特性パラメータ間の統計的な相関を考慮した SGLI 763 nm チャンネルの雲幾何学的厚さ推定に関する情報量
- B104 堀 雅裕 (JAXA/EORC) ひまわり8号AHI熱赤外域バンドを用いた雪氷面識別と表面温度抽出
- B105 渡邊 武志 (電中研) 衛星観測から推定された雲特性量を用いた地表面日射量時系列特性の推定手法
- B106 青梨 和正 (気象研) 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーバルアルゴリズム開発 (その6) : TRMMとGPMの散乱アルゴリズムの誤差と環境変数の比較
- B107 瀬戸 心太 (長大院工) DPRアルゴリズムにおけるDSDデータベースの導入

大会第1日 [ 10月30日(月) ] 9:15~11:00 一般口頭発表

## C 会場

### 中高緯度大気・相互作用 I

座長 : 佐藤 和敏 (極地研)

- C101 茂木 耕作 (JAMSTEC) Pre-YMC観測期間中のMJO通過時に劇的に発達したスマトラ西岸沖バリアレイヤーの形成過程
- C102 立花 義裕 (三重大) ジュグジュル山脈が生み出すジェットが促進するオホーツク海氷拡大
- C103 西井 和晃 (三重大生物資源) 中緯度海洋前線の存在が西風ジェット気流に与える影響
- C104 佐藤 和敏 (極地研) CFSR再解析データによる海氷上の積雪深の再現性とその経年変動について
- C105 山田 恭平 (極地研) 2015年1月の昭和基地における記録的強風現象のメカニズム
- C106 平沢 尚彦 (極地研) “ブリザード”に伴う南極域の降水分布
- C107 林 政彦 (福岡大理) 第58次南極地域観測隊による南極氷床上S17における無人航空機観測
- C108 小西 啓之 (大教大) 南極氷床上S17拠点での夏季の昇華蒸発量自動連続観測

大会第1日 [ 10月30日(月) ] 9:15~11:00 一般口頭発表

## D 会場

### 気候システム I

座長 : 小倉 知夫 (国環研)

- D101 新藤 永樹 (気象研) 浅い対流スキームの開発(1)
- D102 道端 拓朗 (九大院総理工) 気候モデルMIROCに適用する予報型降水スキームの開発
- D103 CHEN Ying-Wen (AORI) 雲解像モデルにおける「precipitating ice」の放射効果について
- D104 行本 誠史 (気象研) MRI-ESM2におけるエアロゾルの有効放射強制力
- D105 小倉 知夫 (国環研) 気候変化において海面水温の上昇が大気へ及ぼす放射加熱の効果
- D106 大垣内 るみ (東大AORI) MIROC -ESM をもちいた最終氷期最大期のダスト分布再現による気候場への影響
- D107 大石 龍太 (東大大気海洋研) 全球大循環モデルと動態植生モデルを用いた過去の気候・植生・メタン再現の初期的な研究
- D108 庭野 匡思 (気象研) グリーンランド氷床における極域気候モデルNHM-SMAPの2m気温再現精度

大会第1日 [ 10月30日(月) ] 13:00~18:00 専門分科会

A 会場

再生可能エネルギーなどの気象観測・予測情報の気象ビジネスへの利活用

趣旨説明 (5分)

座長 : 大竹 秀明 (産総研)

- A151 中島 孝 (東海大) AMATERASS日射量情報の研究活用の状況と民間活用の仕組み
- A152 Alessandro Damiani (Chiba University) Evaluation of Himawari-8 radiation and aerosol products using SKYNET observations in Japan
- A153 樋口 篤志 (千葉大 CEReS) 静止気象衛星群より導出された AMATERASS 日射情報の世界展開 - 地球環境情報プラットフォーム構築推進プログラム基幹アプリFSによる検討, 今後の展開 -
- A154 大竹 秀明 (産総研) 気象衛星ひまわり8号を活用した広域エリア太陽光発電量推定
- A155 \*松原 浩司 (産総研) 太陽光発電における気象データの必要性
- A156 宇田川 佑介 (東大生研) 電力システムにおける需給運用における発電量予測の使用方法

座長 : 吉田 健二 (CTC)

- A157 宇野 史睦 (産総研 (AIST) ) 複数の全球アンサンブル予報を用いたMSM日射量予測値の大外し事例の検出
- A158 野原 大輔 (電中研) 数値気象モデルを用いた日射量予測の空間代表性の考察
- A159 菊地 信行 (E&ES) 金融機関向け技術デューデリジェンスにおける気象情報の利用
- A160 吉田 健二 (CTC) 風力発電出力推定値への気象庁局地モデルの適用可能性について
- A161 永野 良紀 (日大・文理) 東北地方の発電量ランプの確率予測
- A162 島田 照久 (弘前大院理工) 陸奥湾の風況と地形性強風

座長 : 宇田川 祐介 (東大生研)

- A163 阿部 紫織 (MCC) 気象予測情報を活用した洪水予報精度の現状 -平成29年7月花月川の事例-
- A164 中村 要介 (土木研究所ICHARM) 降雨分布が中山間地河川の河川流量に及ぼす影響評価
- A165 久松 力人 (インタ総研) 日本全国を対象とした確率論的洪水モデルの開発
- A166 小林 朋樹 (日本気象協会) 気象関連分野におけるドローン活用と今後の展望

総合討論 (35分)

\*は招待講演, 各講演の持ち時間は15分

B 会場

降水システム I

座長 : 津口 裕茂 (気象研)

- B151 津口 裕茂 (気象研) 「2017年7月5-6日の福岡・大分県の大雨」の特徴について
- B152 木下 仁 (気象庁予報部予報課) 2017年7月5~6日福岡県, 大分県付近に大雨をもたらした環境場について
- B153 田中 健路 (広工大環境) 広島県西部における線状降水帯の発達への地形による効果
- B154 高咲 良規 (立正大) BSB型降水系の維持機構—平成20年8月末豪雨 岡崎豪雨事例 その2—
- B155 二宮 洸三 (無所属) 1982年7月23-24日の九州豪雨を伴った梅雨前線低気圧の特徴
- B156 清野 直子 (気象研) 首都圏における対流性降水環境場の観測と数値実験 (3)
- B157 小池 佳奈 (エムティーアイ) 「3D雨雲ウォッチ~フェーズドアレイレーダ~」アプリによる実証実験3年目
- B158 櫻井 南海子 (防災科研) 首都圏における雷3次元観測計画と初期観測結果
- B159 南雲 信宏 (気象研) 二重偏波レーダーで観測された再凍結層の特徴—2016年1月29日の事例—第3報: 降水粒子の再凍結時のZDR増加の原因と考察

座長 : 栃本 英伍 (東大大気海洋研)

- B160 廣川 康隆 (気象庁予報課) 低気圧の発達と降水システムとの関係
- B161 今村 淳志 (筑波大学大学院) 集中豪雨をもたらす線状降水帯の統計解析: その1 縦横比と走向の特徴
- B162 草薙 浩 (京都ウェザー) 降水連続日数と一雨降水量からみた日本の降水特性の地域性
- B163 草薙 浩 (京都ウェザー) 降水連続日数と一雨降水量からみた英国の降水特性の地域性
- B164 栃本 英伍 (東大大気海洋研) 竜巻の環境場におけるEntrainmentを考慮したCAPEの有効性 —温帯低気圧に伴う竜巻大発生における検証—
- B165 野村 光春 (電中研) 日本海降雪雲に対するWRF-ARWの雲微物理パラメタリゼーションの検討
- B166 荒井 建伍 (富山大院理工) EOF解析を用いた冬季の気象場の特徴

座長 : 山地 萌果 (JAXA/EORC)

- B167 山田 広幸 (琉球大理) 南西諸島で観測された伝播性レインバンドの構造と成層状態
- B168 耿 驃 (JAMSTEC) 「みらい」偏波ドップラーレーダーにより観測された南太平洋収束帯に伴う降水システムの構造
- B169 勝俣 昌己 (JAMSTEC) Pre-YMCで観測された海洋大陸域沿岸強雨帯における雨滴粒径分布の海陸差
- B170 高藪 縁 (東大AORI) GPM SLH (スペクトル潜熱加熱推定法) V05プロダクトの紹介: Part I アルゴリズム概要と初期解析結果
- B171 濱田 篤 (東大AORI) GPM SLH (スペクトル潜熱加熱推定法) V05プロダクトの紹介: Part II: リトリバーバル手法
- B172 山地 萌果 (JAXA/EORC) GPM主衛星搭載二周波降水レーダを用いた全球雨滴粒径分布
- B173 高橋 暢宏 (ISEE) TRMM End of Mission 実験の高密度観測による衛星降水推定の評価について

大会第1日 [ 10月30日(月) ] 13:00~18:00 専門分科会

C 会場

惑星大気研究の今：観測，数値モデリング，理論

趣旨説明（2分）

座長：高橋 芳幸（神戸大）

- C151 \*佐藤 毅彦 (宇宙研) あかつきIR2カメラが探る金星の中下層雲における多様性
- C152 堀之内 武 (北大・地球環境) 金星の中下層雲帯で見つかった低緯度のジェットと不安定渦
- C153 堀之内 武 (北大・地球環境) 金星雲頂付近の平均風とシアア：あかつきUVIによる二波長での雲追跡
- C154 神山 徹 (産総研) 金星大気中における巨大定在波構造の地域・地方時依存性
- C155 北原 岳彦 (東京大) あかつき金星紫外画像に見られる地形固定構造
- C156 高村 真央 (立教大・理) Study on the thermal structure of the Venusian polar atmosphere
- C157 今村 剛 (東大) 金星探査機あかつきの電波掩蔽観測の初期結果

座長：はしもと じょーじ（岡山大）

- C158 \*高木 征弘 (京産大理) AFES-Venus による金星大気モデリング
- C159 榎村 博基 (CPS/神戸大) 高解像度金星大気シミュレーションで再現された惑星規模のストリーク構造
- C160 杉本 憲彦 (慶大日吉物理) 金星AFESアンサンブルデータ同化システムの開発
- C161 小郷原 一智 (滋賀県大) Martian Moons Exploration(MMX) 計画における火星大気観測
- C162 \*堀田 英之 (千葉大) 太陽対流層の乱流と大規模流れ

座長：今村 剛（東大）

- C163 \*倉本 圭 (北大・理) 地球大気形成論の新展開
- C164 河合 佑太 (神大理) 全球海惑星の気候レジーム～海洋大循環の効果～
- C165 佐々木 洋平 (京大・数学) 高速回転する薄い球殻内の熱対流により生成される表層縞帯状構造の消滅
- C166 高橋 芳幸 (神戸大院理) 惑星大気大循環モデルのための放射伝達モデルの構築
- C167 榎本 剛 (京大防災研) RBFを用いた球面螺旋節点上の浅水波モデル

総合討論（15分）

\*は招待講演（各20分），その他は一般講演（各14分）

## D 会場

### 大規模アンサンブル気候実験を用いた新しい研究の展開

座長 : 森 正人 (東大先端研)

- D151 水田 亮 (気象研) 地球温暖化時における極端降水変化と水蒸気量変化の関係
- D152 藤田 実季子 (JAMSTEC) d4PDF 2°C昇温版の降水・水蒸気量変化
- D153 岡田 靖子 (JAMSTEC) d4PDF地上気温地点別検証と極端事象の予測について
- D154 今田 由紀子 (気象研) 世界の異常高温頻度に対する温暖化の寄与率の歴史的变化
- D155 塩竈 秀夫 (環境研) 極端現象の過去の人間活動による変化と避けられない将来変化
- D156 吉田 康平 (気象研) 大規模アンサンブルデータd4PDFで見える熱帯低気圧の将来予測
- D157 植田 宏昭 (筑波大・生命環境) エルニーニョ衰退年における台風発生数偏差の季節的非対称性
- D158 松下 侑未 (北大院環境科学) アンサンブル気候予測データを用いた日本周辺における台風通過頻度の将来変化に関する要因解析
- D159 有吉 望 (京大院工) 台風の最大潜在強度を用いた北西太平洋の台風・高潮の将来変化予測

座長 : 川瀬 宏明 (気象研)

- D160 釜江 陽一 (筑波大生命環境) d4PDFを用いた中国黄河流量の変動要因の特定
- D161 楠 昌司 (気象研) d4PDFによる梅雨の将来変化
- D162 篠原 瑞生 (TMRI) d4PDFを使用した将来気候下における荒川流域での洪水リスクの確率論的評価
- D163 長谷川 聡 (土研ICHARM) 日本域d4PDFにおける将来の気象学的渇水の変化
- D164 吉田 聡 (京大防災研) d4PDFにおける北太平洋爆弾低気圧活動の長期変化
- D165 高 裕也 (金沢大学自然科学研究科) 大規模アンサンブル気候予測データd4PDFを用いた爆弾低気圧の将来変化
- D166 川瀬 宏明 (気象研) 日本における極端に強い降雪発生時の総観場の特徴とその地域特性
- D167 飯泉 仁之直 (農環研) 気候モデルによる大規模アンサンブルデータを用いた作物収量への気候変動影響の検出
- D168 中川 友進 (JAMSTEC) 近未来気候変動予測データベースシステムの開発

### 総合討論

各講演の持ち時間は14分



A 会場

降水システムII

座長 : 藤原 忠誠 (JR東日本)

- A201 藤原 忠誠 (JR東日本) 突風探知のための新規ドップラーレーダーの概要
- A202 楠 研一 (気象研) 庄内高密度観測網における新たなレーダーによる観測-現象解明に期待される寄与-
- A203 新井 健一郎 (気象研) 庄内沖で観測されたフック状エコーを伴う渦列の形成・発達過程
- A204 猪上 華子 (気象研) 2017年1月17日に庄内沖で観測された渦状じょう乱の構造と発達過程
- A205 石津 尚喜 (アルファ電子/気象研) 冬季日本海Lモードで発生した渦の周辺風速場の解析
- A206 小野村 史穂 (アルファ電子/気象研) 多点型地上観測とデュアルドップラーによる渦の水平風速場の比較

座長 : 小林 文明 (防衛大)

- A207 小林 文明 (防大地球) ガストフロントの微細構造：アークの形態
- A208 諸富 和臣 (日本無線) フェーズドアレイ気象レーダで観測された2016年8月4日のガストフロント
- A209 岩下 久人 (明星電気) 地上稠密気象観測データによるダウンバーストに伴う気圧変化
- A210 中井 専人 (防災科研・雪氷) レーダー解析による3月26-27日那須近辺における降水量と風の分布
- A211 荒木 健太郎 (気象研) 2017年3月27日に那須雪崩をもたらした降雪システムの数値実験
- A212 出世 ゆかり (防災科研) 冬季南岸低気圧に伴う降水システムの融解層の3次元分布

B 会場

物質循環 I

座長 : 寺尾 有希夫 (国環研)

- B201 眞木 貴史 (気象研) 複数の衛星観測データを用いたCO<sub>2</sub>データ同化実験 (II)
- B202 近藤 雅征 (CeRes) エルニーニョ南方振動に対応した近年の陸域CO<sub>2</sub>吸収・排出傾向:地上・衛星観測に基づいた異なるプロダクトの相互比較
- B203 佐々井 崇博 (東北大院理) 土地利用・土地利用変化が陸域炭素収支に与える影響の評価
- B204 寺尾 有希夫 (国環研) 代々木における大気CO<sub>2</sub>中の炭素同位体比観測
- B205 菅原 広史 (防大) 代々木における燃料別CO<sub>2</sub>排出量の推定
- B206 大畑 祥 (東大院理) 東京都市大気における黒色酸化鉄の動態と発生源
- B207 宮崎 和幸 (JAMSTEC) 大気化学再解析とその気候研究への利用: (1) 大気組成
- B208 弓本 桂也 (九大応力研) 大気化学再解析とその気候研究への利用:(2)エアロゾル
- B209 山下 陽介 (JAMSTEC) 日本周辺域の春先における切離低気圧イベントに伴う成層圏から対流圏への物質輸送の解像度依存性評価
- B210 須藤 健悟 (名大・院環境) アジア・中国域からのエアロゾル流出量の季節・経年変動とその要因
- B211 吉田 真由美 (JAXA/EORC) JAXAひまわりモニタの開発:多波長イメージャによるエアロゾル推定アルゴリズム
- B212 五藤 大輔 (国環研) 2016年5月における静止衛星ひまわりを用いたNICAMのエアロゾル再現性の検証

C 会場

データ同化 I

座長 : 山下 浩史 (MSC)

- C201 計盛 正博 (気象庁数値予報) 気象庁全球解析における全天マイクロ波放射輝度温度同化の開発
- C202 山下 浩史 (MSC) 気象衛星Meteosat-7号からMeteosat-8号への大気追跡風の現業全球数値予報システムにおける切り替え利用について
- C203 大塚 道子 (気象研) ひまわり 8号による高頻度大気追跡風の同化実験 —その3—
- C204 澤田 洋平 (気象研) Running-In-Place法を用いたひまわり8号全天輝度温度データ同化による局地的大雨の予測精度向上の試み
- C205 上清 直隆 (気象研) ひまわり 8号雲域観測の全球データ同化

座長 : 前島 康光 (理研・計算科学)

- C206 山崎 哲 (JAMSTEC) AFES-LETKF同化システムへの観測インパクト評価診断ツールの実装
- C207 岡本 幸三 (気象研) 観測システムシミュレーション実験(OSSE)を用いた、衛星搭載風ライダー (DWL) のインパクト評価
- C208 若月 泰孝 (茨城大理) 上流下層加湿法による短時間降水予測実験
- C209 前島 康光 (理研・計算科学) 高密度地上観測のデータ同化による降水予測改善のプロセス
- C210 吉岡 真由美 (NICT/ISEE) 急発達する積乱雲の事例における降水の再現性比較: 雲解像モデルを用いたフェーズドアレイデータ同化感度実験
- C211 牛山 朋來 (土研ICHARM) 船舶搭載GPS PWVの同化インパクト実験

D 会場

気候システムII

座長：松本 健吾（岡山大・院）

- D201 山本 晴彦 (山口大学) 帝国日本における気象観測ネットワークの構築—南洋庁—
- D202 槌田 知恭 (岡山大・院) 盛夏期における日本付近の降水と広域水蒸気輸送に関する相関気候学的解析
- D203 松本 健吾 (岡山大・院) 長期データからみる東日本の梅雨最盛期における多降水年の特徴に関する気候学的解析
- D204 内山 常雄 (予報士会) 365日移動平均値でみる日本の気温変動
- D205 高橋 庸哉 (北教大) 帯広とその近郊での10°Cを超える気温差はヒートアイランド現象に依るか?
- D206 鈴木 啓助 (信州大学) 北アルプス上高地における最近の気候変動
- D207 原 政之 (埼玉県) 関東地方における日変化スケールの地上気温の長期変化

座長：福井 真（東北大院理）

- D208 釜堀 弘隆 (気象研) 北西太平洋地域における台風降水量の分布
- D209 高藪 出 (気象研) 力学的ダウンスケーリングによるデータセットファミリーについて
- D210 遠藤 伸彦 (農研機構・農環研) d4PDF領域実験による地表面下向き短波放射量の再現性
- D211 大泉 三津夫 (気大) NHRCM に実装した多層湖沼熱モデルのパフォーマンス
- D212 福井 真 (東北大院理) 地上気圧のみを用いた高解像度日本域領域再解析システムの検討

## A 会場

### 大気境界層

座長 : 中村 祐輔 (立正大院地球環境)

- A301 北村 祐二 (気象研) 大気境界層のgrey zoneにおけるMYNNモデルの適用
- A302 伊藤 純至 (気象研) ラージ・エディ・シミュレーションのための接地境界条件の検討
- A303 中山 浩成 (原子力機構) 現実気象条件下における都市詳細大気拡散計算手法に関する研究
- A304 大橋 唯太 (岡山理大・生物地球) 冬季の寒波襲来による果樹(柑橘)ダメージの気象シミュレーション
- A305 三浦 悠 (岡山理大院・生物地球) 肱川あらしの強弱と積算気温の関係
- A306 三浦 悠 (岡山理大院・生物地球) 岡山地方気象台の露場移転に伴う観測気温の不連続 -2015年3月の移転-
- A307 中村 祐輔 (立正大院地球環境) 地上稠密観測POTEKAに基づく中小規模都市ヒートアイランド伴う地上風系
- A308 山口 和貴 (東京電力HD) 人工冷排熱による気温影響 -夏季・冬季実測結果の比較-
- A309 小川 陽平 (防衛大) 都市域におけるCO<sub>2</sub>輸送量の年々変動
- A310 酒井 敏 (京大人環) フラクタル日除けによるクールアイランド実験 -水の蒸発による冷却-

### 環境気象

座長 : 藤部 文昭 (首都大)

- A311 白石 浩一 (福岡大) 蛍光ライダーで観測された黄砂・汚染大気の蛍光エアロゾル 地上での直接サンプリング観測との比較2
- A312 王 哲 (九大応力研) Modeling the dust transport and acid uptake over East Asia in May 2017
- A313 渡邊 貴典 (首都大) 都市環境) オゾンによる森林の育成阻害リスクと気候の年々変動の関係
- A314 藤部 文昭 (首都大) 関東大震災と東京空襲の火災に伴う中央気象台の高温と強風
- A315 上條 賢一 (東洋大) 伊豆半島周辺の海水温変動におけるフラクタル性の年月別比較-LFDの分散分析とその考察-

B 会場

観測手法Ⅱ

座長 : 諸田 雪江 (NICT/ISEE)

- B301 鈴木 博人 (J R 東日本防災研) 1kmメッシュ解析雨量の精度について - 鉄道の雨量計を用いた関東・東北地方における解析 -
- B302 鈴木 真一 (防災科研) 2017年6月16日の降雹事例に対するXバンドMPレーダーを用いた雹の検出アルゴリズムの検証
- B303 松下 拓樹 (寒地土研) 札幌エリアX-MP レーダ雨量と地上降雪量の比較
- B304 久保田 匡亮 (京大) MUレーダー実時間アダプティブクラッター抑圧システムの開発
- B305 佐藤 晋介 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのデータ品質管理 ~ 疑似エコーと干渉波の除去 ~
- B306 諸田 雪江 (NICT/ISEE) フェーズドアレイ気象レーダーのクラッタ除去とデュアルドップラー解析
- B307 川合 義美 (JAMSTEC/RCGC) 海上におけるバイサララジオゾンデRS41とRS92の比較
- B308 川村 誠治 (NICT) 地デジ放送波を用いた水蒸気量推定手法の研究開発 - 遅延量の絶対値推定 -

座長 : 永井 智広 (気象研)

- B309 酒井 哲 (気象研) 可搬性に優れた小型水蒸気ライダーの開発と観測
- B310 小竹 論季 (三菱電機情報総研) 風況計測用大気環境適応型ドップラーライダーの性能評価
- B311 永井 智広 (気象研) 二酸化窒素観測用差分吸収法ライダー (DIAL) の開発 (Ⅱ)
- B312 長澤 親生 (首都大) 3波長DIALによる境界層中のCO<sub>2</sub>濃度と気温プロファイルの同時観測
- B313 西澤 智明 (NIES) ライダーデータを用いたエアロゾルコンポーネント推定結果と地上観測データとの比較
- B314 及川 博史 (JAXA) 小型ジェット機による上空エアロゾル数濃度・粒径分布の観測
- B315 山本 哲 (気象研) 初期気象官署の設置環境 (函館・東京・長崎)

## C 会場

### データ同化Ⅱ

座長：石橋 俊之（気象研）

- C301 澤田 洋平 (気象研) 逆問題としての水文気象学：河川-大気強結合アンサンブルデータ同化の試み
- C302 石橋 俊之 (気象研) 4次元の背景誤差共分散行列を使った4D-Varによるアンサンブル生成と決定論的解析 (2)
- C303 近藤 圭一 (理研計算科学) NICAM-LETKFを用いたDual localization法の検証
- C304 斉藤 和雄 (気象研) アンサンブルデータ同化のための摂動手法について (3)
- C305 レ デュック (JAMSTEC) An explanation for the diagonally predominant property of ensemble transform matrices
- C306 川畑 拓矢 (気象研) 粒子フィルタを用いた積乱雲の発生・発達に関する不確実性の解明にむけて
- C307 大西 領 (JAMSTEC) 深層学習を活用した階層・分散型データ同化システム

### 気象予報

座長：山田 恭平（極地研）

- C308 山口 宗彦 (気象研) GSMaPとS2Sデータを用いた1か月予報の降水検証
- C309 中川 雅之 (気象研) 気象庁全球モデルにおける下層雲の表現の改善 (序報)
- C310 相河 卓哉 (北大院理) 北半球冬季のブロッキング形成過程における再解析および予報データに対する渦度収支解析
- C311 山田 恭平 (極地研) NHMによる南極定期予報計算システムの導入と検証
- C312 牛山 朋來 (土研ICHARM) 大井川・犀川流域のアンサンブル降雨予測システムの開発
- C313 柴田 大河 (琉球大学理工) 統計解析による台風中心気圧予報
- C314 棚原 慎也 (琉大院・理工) Deep learningを用いた北西太平洋全域台風強度予測実験
- C315 岩波 越 (防災科研) VILナウキャストの精度検証

## D 会場

### 気候システムⅢ

座長：菅野 湧貴（東北大院・理）

- D301 黒田 友二 (気象研) 太陽活動による南半球環状モード変調の起源
- D302 安藤 雄太 (三重大院生物資源) 初冬の極夜ジェットの季節進行の停滞とシベリアの寒冷化 ～過去と近年の違い～
- D303 菅野 湧貴 (東北大院・理) 温位座標に基づく寒気流出の将来変化の解析
- D304 山崎 孝治 (北大地球環境) 冬の北大西洋振動と夏の北半球環状モードの間の季節間リンクの数十年規模変動
- D305 シェリフ多田野 サム (AORI) 北大西洋での大気海洋海氷相互作用が大西洋子午面循環に与える影響
- D306 大島 和裕 (JAMSTEC IACE) 両極域における水蒸気量とその輸送の長期トレンド
- D307 中澤 哲夫 (気象研) 熱帯の深い対流活動の長期トレンドについて
- D308 山内 恭 (極地研) スパールバル・ニーオルスンの長波放射にみる冬の2つの気候状態

座長：関澤 偲温（東大先端研）

- D309 関根 祐大 (東京大学大気海洋研究所) 十年規模の気候内部変動が全球平均気温に及ぼす影響について
- D310 小坂 優 (東大先端研) 熱帯太平洋十年規模変動に伴う全球気温変動とその不確実性
- D311 関澤 偲温 (東大先端研) 夏季オーストラリア北部の降水量変動に伴う冬季東アジアへの遠隔影響
- D312 見延 庄士郎 (北大院・理) メキシコ湾流が北大西洋ジェット気流にもたらす影響
- D313 桑名 佑典 (岡大教育) ヨーロッパにおける低気圧活動 (2000年を例に)
- D314 早坂 忠裕 (東北大院理) 夏季北太平洋における下層雲とSSTフロントの変動
- D315 川合 秀明 (気象研) CMIP5マルチモデルデータにおける温暖化時の北半球の海霧変化



## A 会場

### 中層大気

座長 : 樫村 博基 (CPS/神戸大)

- A401 席 浩森 (北大) 対流圏化学再解析データを用いた東アジア及び北太平洋における成層圏対流圏大気交換の研究
- A402 劉 光宇 (九大理院) 南極域におけるオゾン変動と力学場の関係 II
- A403 小新 大 (東大院理) 中層大気におけるデータ同化の研究—大気大循環モデルのパラメータ依存性—
- A404 樫村 博基 (CPS/神戸大) 乾燥大気理想化実験におけるQBO的周期振動のモデル依存性
- A405 直江 寛明 (気象研) QBOi-AMIPと-1xCO<sub>2</sub>実験におけるQBOが北半球冬季の成層圏循環に与える影響

### 大気放射

座長 : 石元 裕史 (気象研)

- A406 関 隆則 (気象予報士会) 気層の放射による地表面の加熱を考える温室効果実験装置
- A407 岩渕 弘信 (東北大院理) 機械学習を用いた不均質雲の光学的厚さと雲粒有効半径の推定
- A408 石元 裕史 (気象研) 積雪放射計算改良のためのX線マイクロCTデータを用いた積雪粒子モデル開発
- A409 岡本 創 (九大応力研) EarthCARE衛星雲解析アルゴリズム: 氷粒子のライダ比と偏光解消度
- A410 Khatri Pradeep (CAOS) An improved cloud properties retrieval method from the sky radiometer
- A411 工藤 玲 (気象研) SKYNETデータによるエアロゾル組成のリモートセンシング

B 会場

物質循環Ⅱ

座長：柴田 隆（名大環境）

- B401 安成 哲平（北大院工・北大北極研） 積雪中のダスト・ブラックカーボン・オーガニックカーボン濃度の簡易的測定手法の検討
- B402 張 代洲（熊本県立大・環境共生） 春季九州西岸における高気圧時と低気圧時の微生物エアロゾルの濃度
- B403 源 祐輝（名大院環境） 2017年5月上旬に東アジアの広範囲で観測されたダストイベントの解析
- B404 Hoque Syedul (CERES) First MAX-DOAS observations of formaldehyde and glyoxal in Southeast Asia and South Asia
- B405 小木 昭典（気象庁環境気象） 気象庁黄砂予測モデルの高解像度化と予測精度検証
- B406 池上 雅明（気象庁環境気象） 地上オゾン観測同化期間による気象庁領域大気汚染気象予測モデルの予報特性
- B407 中島 英彰（環境研） 2007/2011年南極昭和基地におけるFTIR観測による塩素化合物の挙動
- B408 柴田 隆（名大環境） ニーオルスライダー及びCALIOPによる高緯度北極対流圏エアロゾルの季節変化
- B409 青木 一真（富山大院理工） オホーツク海沿岸域の大気エアロゾルの光学的特性
- B410 矢吹 正教（京大生存研） 南極海における海洋大気エアロゾルの光学特性 —2002~2007年夏季の南大洋船上観測—
- B411 渡邊 明（福島大理工） 森林火災に伴う放射性物質飛散に関する大気環境場の解析
- B412 佐藤 陽祐（名大工） 東京電力福島第1原子力発電所起源のセシウム137の大気中の動態に関する第2回モデル間比較プロジェクト

## C 会場

### 中高緯度大気・相互作用II

座長：小松 謙介（三重大院生物資源）

- C401 佐藤 令於奈 (福岡大院理) 冬季中緯度における雲量の季節内変動特性
- C402 小松 謙介 (三重大院生物資源) 日本周辺の筋状雲群が熱源となる総観規模大気への応答とは
- C403 千綿 蒔 (京大大学院) JRA-55にもとづく日本周辺の爆弾低気圧の長期変動特性
- C404 築地原 匠 (九大院・理) 近年の北海道地方の暴風雪の頻発と爆弾低気圧活動 (2)
- C405 本田 明治 (新潟大理) 2012年8月6日新潟市のガストフロント発現にかかわる大気場の3次元構造の特徴
- C406 平田 英隆 (名大・宇地研) 2017年1月上旬に三宅島で大雨をもたらした前線帯の初期形成過程
- C407 伊川 浩樹 (農研機構) 異なる水稻品種による群落が大気の熱環境に及ぼす影響

### 大気力学

座長：森 厚（桜美林大）

- C408 野口 克行 (奈女大) 火星極夜での大気CO<sub>2</sub>過飽和に対する大気波動の影響
- C409 田中 博 (筑波大計算科学) 大気の力学的固有解としての南半球環状モード(SAM)
- C410 野田 彰 (気象研) 一般化された変換Euler 平均(GTEM)から見た平均子午面循環 (III) 対称渦拡散テンソル(非定常擾乱)の効果
- C411 伊賀 啓太 (東大 大気海洋研) 円筒容器内で回転する円盤上の軸対称流の不安定
- C412 森 厚 (桜美林大) ロスビー波の統計力学

## D 会場

### 台風 I

座長 : 足立 透 (気象研)

- D401 青梨 和正 (気象研) Neighboring Ensembleに基づく変分同化法を使ったPALAU2013事例への衛星搭載マイクロ波放射計輝度温度の同化実験 (その2)
- D402 足立 透 (気象研) フェーズドアレイレーダーを用いた台風に伴う境界層ストリークの3次元解析
- D403 田盛 智翔也 (琉球大理) 気象レーダーで観測された台風の壁雲の傾斜と強度の関係
- D404 辻 宏樹 (東大大気海洋研) 加熱強制を渦の内側と外側に与えた際の台風を模した渦の大きさの変化
- D405 金田 幸恵 (名大ISEE) 雲解像大気・海洋結合領域モデルを用いたTyphoon MEGI (2010)の再現実験
- D406 吉野 純 (岐阜大院工) Piecewise PV inversionによる台風1610号の進路解析
- D407 和田 章義 (気象研) 2016年台風第10号衰退期に見られた対流バーストと海洋の影響

座長 : 筆保 弘徳 (横浜国大)

- D408 吉田 龍二 (理研計算科学) TC発生環境場に特徴的な流れ場パターンの長期平均的な特徴
- D409 筆保 弘徳 (横浜国大) 早期ドボラックで検出された台風になれなかった熱帯擾乱の特徴と環境場～台風発生最終条件～
- D410 加瀬 紘熙 (横浜国大) Deep Learningを用いた台風強度推定・発達予測
- D411 宮崎 駿 (横浜国大) 台風経路アンサンブルシミュレーションを用いた台風リスクの算出
- D412 山口 宗彦 (気象研) WGNE現業全球モデルによる台風予測の国際比較

A 会場

気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて

趣旨説明

座長：濱田 篤（東大）

- A451 河谷 芳雄 (JAMSTEC) 成層圏が対流圏循環に及ぼす影響：MIROC-AGCMを用いた考察
- A452 野沢 徹 (岡大院自然) 温暖化に伴うユーラシア大陸の春季積雪減少と日本・東アジア域における夏季大気循環場の変化との関連性について
- A453 松村 伸治 (北大院地球環境) 夏季北太平洋における亜熱帯ジェットの将来変化
- A454 遠藤 洋和 (気象研) 温暖化に伴うアジアモンスーン循環の変化
- A455 楠 昌司 (気象研) 地球温暖化による降水量のティッピング年はいつになるか？
- A456 尾瀬 智昭 (気象研) 温暖化による夏季東アジアの降水量変化予測のモデル比較

座長：小坂 優（東大）

- A457 宮坂 貴文 (東大先端研) 2013年8月島根豪雨における海面水温の影響
- A458 辻 宏樹 (東大大気海洋研) Atmospheric Riverと切離低気圧に伴う降水の統計的調査
- A459 濱田 篤 (東大AORI) 日本域の極端降水・極端対流イベントの降水特性・環境場の違い(2)
- A460 末藤 菜保 (弘前大理工) Atmospheric Riverが日本の豪雨に与える影響
- A461 勝部 豪 (千葉大院理) 近年の沖縄梅雨における少雨日増加の要因解析
- A462 谷田貝 亜紀代 (弘前大理工) 札幌の降雪の地域性と広域循環場・グローバルシグナルの影響
- A463 加藤 内藏進 (岡大・教育・理科) 北陸の平野部における降雪の長期変動に関わる日々の多降雪時の大気場の総観気候学的解析 (その2)

まとめ

各講演の持ち時間は16分

大会第4日 [ 11月2日(木) ] 13:00～17:00 専門分科会

## B 会場

### 気象とくらし ～北の大地からのイノベーション～

座長：原田 裕介（気象予報士会）

- B451 佐藤 トモ子 (気象予報士会) 北海道斜里町における蜃気楼観察ネットワーク構築と普及活動および大学連携への展開事例
- B452 亀田 貴雄 (北見工業大学) 日本一寒い町, 北海道陸別 ー気象庁による1978年から2017年までの40年間の観測データに基づくー
- B453 関 陽平 (三重大院生物資源) 気温急変の気候学的見解
- B454 根本 学 (農研機構 北農研) メッシュ農業気象データについて
- B455 金村 直俊 (SNET) 気象関連分野へのディープラーニング活用に関する試み～雪道転倒による救急搬送者数予測について～
- B456 奥村 政佳 (気象予報士・保育士) 未就学児童に対する気象教育～気象情報アプリケーション「SORAKIDSα」の活用と展開～

座長：志田 昌之（気象予報士会）

- B457 中村 一樹 (防災科研) 積雪寒冷地の特性を活かした北海道占冠村での産学官連携の取り組み
- B458 宮島 亜希子 (防災科研) 気象災害軽減イノベーションセンターにおける防災教育の取り組み
- B459 高桑 衣佳 (気象予報士会) 地域と予報士 -ママ予報士の防災教育活動-
- B460 森山 知洋 (気象予報士会) 天気で元気になる!情報発信～お天気+αのチカラで人を、家族を、マチを元気に～
- B461 和田 直人 (気象予報士会) 防災行政と気象予報士 ～人口約5,000人の小さな町で何ができるのか～
- B462 中山 秀晃 (気象予報士会) 旅行と防災 ー旅の安全・安心を考えるー
- B463 富山 芳幸 (WEED) 警報遵守の問題と安全への聡明な選択

各講演の持ち時間は15分

大会第4日 [ 11月2日(木) ] 13:00~17:00 専門分科会

## C 会場

気象や気候の変化は人の健康にどのような影響を及ぼすか –生気象学の知見を共有する–

趣旨説明 (2分)

座長 : 大橋 唯太 (岡山理科大)

- C451 米田 智佳子 (エムティーアイ) 体感温度予報および服装提案による利用者のセルフケアへの貢献
- C452 福島 あずさ (神戸学院大) 居住中の伝統町屋における住まい方と室内温熱環境の実測調査 –夏季の宇多津町古街と明石市大蔵八幡町を例に–
- C453 橋本 侑樹 (東大院・新領域) 熱中症リスク評価指標としての障害調整生存年(DALY)の検討
- C454 大橋 唯太 (岡山理大・生物地球) 気象ストレスによる温熱生理変化と新しい指標UTCIの適用性
- C455 三坂 育正 (日本工業大学) 暑熱環境に適応する対策技術の人体生理・心理反応による評価
- C456 鈴木パーカー 明日香 (立正大) 屋内外の温熱環境の違いが知的生産性に与える影響

座長 : 寺尾 徹 (香川大)

- C457 井原 智彦 (東大) ピッツバーグ睡眠質問票を用いた気温上昇による睡眠悪化の評価
- C458 日下 博幸 (筑波大・計算科学) 県別の熱中症救急搬送者数の予測式の開発
- C459 藤部 文昭 (首都大) 日本の低温死亡率の地域的・季節的特性
- C460 田家 卓 (三重大学) 三重県津市におけるインフルエンザ流行期の年々変動と気象
- C461 橋爪 真弘 (長大・熱研) 東アフリカの高地マラリアとインド洋ダイポールモード現象
- C462 寺尾 徹 (香川大教育) バングラデシュにおける下痢症に対するENSOの影響とそのメカニズム

総合討論

各講演の持ち時間は15分

## D 会場

### 台風Ⅱ

座長：山田 洋平 (JAMSTEC)

- D451 柳瀬 亘 (気象研) 温度・鉛直シア・惑星渦度のパラメータ空間における低気圧の理想化実験 ～その2
- D452 山崎 聖太 (京大院理) 台風の最大強度に及ぼす環境条件の影響
- D453 金井 惇平 (三重大院生物資源) 台風の衰弱過程～圏界面変動の影響～
- D454 山田 洋平 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルを用いた地球温暖化による台風の構造変化
- D455 石山 尊浩 (AORI) Perpetual 実験による強El Nino 年(1997/2015 年)の熱帯低気圧活動の相違
- D456 中山 尋斗 (学芸大) 西部北太平洋暖水域の水温勾配が及ぼす発生・発達期の台風への影響
- D457 藤原 圭太 (九大院・理) 黒潮の海面潜熱フラックスに対する台風の遠隔応答
- D458 高橋 千陽 (AORI) 近年の西部北太平洋域の10年規模熱帯低気圧減少に対する硫酸性エアロゾルの影響

### 熱帯大気

座長：西 憲敬 (福岡大理)

- D459 久保田 尚之 (北大院理) 復元した高層気象データを用いた1940年のエルニーニョに関する研究
- D460 佐藤 尚毅 (学芸大) 基本場の東西勾配を考慮した浅水方程式系におけるMJO的な東進モード
- D461 市川 悠衣子 (北大院理) MJO相空間における予測可能性推定の代替的な手法とそのS2Sモデルへの適用
- D462 高須賀 大輔 (東大大気海洋研) 水惑星実験で選択される熱帯季節内振動の東進過程における水蒸気場・渦度場の変動
- D463 門屋 寿樹 (名古屋大環境) 衛星及び現場観測データによる対流雲の自発的凝集化の検出と解析
- D464 高橋 直也 (東北大院理) 熱帯海洋上の対流雲から派生するアンピルの雲微物理特性と海面水温依存性
- D465 西 憲敬 (福岡大理) CALIOPおよび静止衛星赤外データを用いた巻雲の解析
- D466 木下 武也 (JAMSTEC) パラオ域のラジオゾンデ集中観測による大気重力波の研究
- D467 林 政彦 (福岡大理) 2015年2,3月のBiak上空の熱帯対流圏界層エアロゾルの組成
- D468 森 修一 (JAMSTEC) インドネシア・ジャカルタ拡大首都圏における雷雨特性—JALS2015観測結果ほか



- P101 青木 誠 (NICT) デュアルドップラーライダーによる水平風鉛直分布の測定
- P102 岩井 宏徳 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダの10秒観測モードでのドップラー速度測定精度検証
- P103 佐野 哲也 (NICT) 降雨減衰の影響範囲推定のためのPAWR反射因子のレンジ方向積分値の解析
- P104 喜田 智亮 (阪大院) 気象用二重偏波フェーズドアレイレーダのアレイ形状の初期検討
- P105 本吉 弘岐 (防災科研) 鉛直降水レーダーによる霰や霰状雪の短時間降水イベントでのZ-R関係
- P106 橋口 浩之 (京大生存研) 小型無人航空機・MUレーダー同時観測実験(ShUREX)
- P107 小西 啓之 (大教大) 地上降雪観測から推定されるGPM衛星二周波降水レーダで検出可能な降雪粒子の特徴
- P108 豊嶋 紘一 (千葉大CEReS) GPM Ku・Kaレーダーにおける降水地域特性比較
- P109 堤 勇人 (名城大院・理工) GSMaPによる中・高緯度の降雪推定
- P110 小司 禎教 (気象研) 地上気象観測とGNSS可降水量を用いた地上水蒸気量推定の試み
- P111 酒井 哲 (気象研) 機動観測用水蒸気ラマンライダーの検証
- P112 久保田 実 (NICT) ステレオ全天カメラシステムを用いた雲底高度や風の導出手法の開発
- P113 山本 宗尚 (京大院理) 高高度域におけるTRMM PR/GPM DPRデータからの潜熱加熱スペクトル推定  
(1) WRFを用いたチベット高原降水システムの事例解析
- P114 佐藤 卓弥 (大石研究室) 二波長の偏波レーダーを想定した雨雲内氷粒子の粒径分布推定手法に関する研究
- P115 折笠 成宏 (気象研) エアロゾル濃縮器を利用した氷晶核のモニタリング観測 (その2)
- P116 末木 健太 (理研計算科学) 超高解像度の現実大気実験において湿潤対流を抽出する新手法の開発
- P117 山田 芳則 (気象研) 粒子の成長・変換をより自然に表現する氷相バルク微物理モデルの試作
- P118 端野 典平 (九大応力研) 北極混合相層雲における氷晶核形成過程と晶癖分布の関係
- P119 滋野 陽介 (新潟大院) 北陸地域の冬季雷発生時における落雷極性別大気構造
- P120 福原 隆彰 (鉄道総研) 新潟平野で発生した突風事象の空間構造
- P121 高見 和弥 (鉄道総研) 地上風速の急激な増加時における上空のウインドシアアの検出
- P122 紀平 旭範 (富山大院) 冬季日本海における日本海寒帯気団収束帯の変動に関する研究
- P123 北畠 尚子 (気象大) 梅雨期に西日本に影響した低気圧の総観規模での特徴
- P124 大泉 伝 (JAMSTEC) 2013年10月伊豆大島豪雨の高解像度実験
- P125 瀬古 弘 (気象研) 関東平野の高密度・高頻度観測データを用いた発達した降水域の予測実験 (その1)
- P126 栗津 妙華 (理研計算科学) 降水領域の形状特徴量を用いたデータ同化実験
- P127 横田 祥 (気象研) 予報モデルを繰り返し計算する4DEnVar
- P128 小田 真祐子 (気象研) 全球モデル用アンサンブルに基づく変分法同化法のための相関構造の調査 2
- P129 須長 智洋 (筑波大学) 自己組織化マップ(SOM)とアンサンブルスプレッドによる相空間の可視化
- P130 大庭 雅道 (電中研) 風力発電量変動の確率予測手法の開発

- P131 嶋寺 光 (大阪大学) 大気質モデルによるオゾン濃度再現性の水平格子解像度依存性
- P132 野澤 千菜美 (酪農大・院) 分布型流出モデルを用いた石狩川流域における出水の検討
- P133 安田 朱里 (同大理) 京田辺市の冬季夜間におけるヒートアイランド現象について
- P134 河野 恭佑 (千葉工大院) 天空率の違いによる都市街区内のWBGTの変化
- P135 中坪 真希 (京大総人) 森の中と外における気温と水蒸気量の関係性について -2017年における観測結果-
- P136 渡邊 貴典 (首都大 都市環境) 山岳地の風力発電所における発電量と卓越風向の関係
- P137 青木 翔太 (立正大地球環境) 風上側山地の鞍部が那須おろしに与える影響
- P138 下山 宏 (北大低温研) 山岳域における冬季気象観測
- P139 北村 祐二 (気象研) 差分誤差由来のエネルギー散逸が乱流フラックスに与える影響
- P140 山岸 拓矢 (東海大学) ひまわり 8号を用いた黄砂濃度の変化による雲特性への影響評価
- P141 白石 浩一 (福岡大) スバルバール上空でライダーにより観測された上部対流圏・成層圏エアロゾルの季節変動
- P142 大海 慎之輔 (京大院理) 理想化された大気循環モデルの水惑星実験におけるQBO的振動について
- P143 財前 祐二 (気象研) エアロゾル観測データによる非降水時視程の再現
- P144 石島 健太郎 (JAMSTEC) NICAMを用いたラドン高濃度イベントの解析
- P145 石井 和樹 (北大院工) 北海道全域における積雪中ブラックカーボン濃度分布
- P146 及川 栄治 (NICT) ライダー観測に基づくエアロゾル光学特性の発生源ごとの特徴
- P147 久慈 誠 (奈良女子大) 奈良における地上光学観測データ解析によるエアロゾルの経年変化
- P148 原 圭一郎 (福岡大・理) 南極昭和基地における凝結核濃度の季節・経年変化
- P149 勝山 祐太 (北大院理) 複数の力学的ダウンスケーリングに基づくニセコにおける積雪の将来変化
- P150 西森 基貴 (農研機構・農環研) 経験的統計ダウンスケーリング手法(ESD)による複数気象要素の同時再現-再解析データの影響と力学的ダウンスケーリング結果との比較-
- P151 若月 泰孝 (茨城大理) 関東域の夏季の高解像領域気候実験
- P152 舛井 博一 (弘前大院理工) アンサンブル気候予測データベースd4PDFを用いたヤマセの現在気候の再現性評価
- P153 神澤 望 (首都大院 都市環境) 夏季アジモンスーンの季節降水量の極値将来変化とその非対称性
- P154 吉田 龍平 (福島大理工) 気候変動に伴うコメの安定生産に向けた適応策の検討
- P155 仲江川 敏之 (気象研) 今世紀末の温暖化状況下におけるロシア主要7都市の気候アナログ
- P156 Phermphoonphiphat Ekasit (阪大) Preliminary Study on Machine Learning Approach for Climate Change Prediction
- P157 直井 萌香 (筑波大生命環境系) 北太平洋Atmospheric Riversの発生に対するENSOの同時・時間差影響
- P158 星 亮輔 (首都大院都市環境) 冬季の北極振動シグナルの続く夏季の気候への持続可能性
- P159 渡来 靖 (立正大・地球環境科学) JRA-55におけるジェットストリーク出現頻度の長期傾向
- P160 鈴木 智恵子 (JAMSTEC) 衛星観測からみた中部日本における積雪分布の季節変化と年々変動

- P161 一柳 錦平 (熊大) 日本における降水同位体比の年平均・季節平均値の推定
- P162 佐藤 丈徳 (東理大) 2016年及び2017年に東京スカイツリーで観測された新粒子生成
- P163 中野渡 拓也 (極地研) 東シベリア海の海氷短期予測における総観スケール大気擾乱の重要性
- P164 早坂 洋史 (道水気研) 北方林での森林火災と気団
- P165 花戸 佑輔 (日本大院) 2月に太平洋側を進む低気圧とグローバル気象場の解析について
- P166 エルデンバト エンフバト (北大院地球環境) Intense soil moisture-atmosphere feedback during high temperature event in 2002 in Northeast Eurasia
- P167 辻野 智紀 (名大宇地研) 理想化台風における多重壁雲の置き換えり周期に対する環境場の影響
- P168 吉岡 大秋 (京大院理) ダウンスケール実験を用いた低緯度で発生した熱帯低気圧の強化過程の解析ー2016年ハリケーンPALIの事例ー
- P169 嶋田 宇大 (気象研) 台風の強度変化に寄与する台風の構造と境界層プロセスに関する研究ーその1ー
- P170 Celio Matuele (理工学研究科数理環境科学専攻) Assessment of track and precipitation distribution of tropical cyclone Dineo
- P171 鈴木 臣 (愛知大学) 小型カメラによる大気光イメージング観測ネットワークの構築
- P172 桃井 裕広 (東理大) 2014年から2016年に観測された富士山麓における気柱全体のエアロゾル光学特性
- P173 高木 聖子 (東海大TRIC) MODIS/Aqua観測データを用いて検証するEarthCARE/MSI氷雲特性解析プログラム

- P201 及川 博史 (JAXA) 上空におけるドップラーライダーの受信強度とエアロゾル数濃度の測定
- P202 諸富 和臣 (日本無線) フェーズドアレイ気象レーダによる積乱雲の三次元表示
- P203 菊池 博史 (首都大システムデザイン) X帯気象用フェーズドアレイレーダに対する適応型パルス圧縮処理手法の検討
- P204 早野 真理子 (古野電気) 小型Xバンド二重偏波レーダを用いた降雹予測に向けて
- P205 瀬戸 心太 (長大院工) 雨滴粒径分布観測によるR-Dm関係の変動の解析
- P206 前坂 剛 (防災科研) 積雲の検出のための雲レーダーデータ品質管理について
- P207 石田 春磨 (気象研) 気象衛星による雲種識別における自己符号化器を応用した波長選択
- P208 広瀬 正史 (名城大) GPM DPR観測における背の低い雲による降水の見逃し
- P209 工藤 亜美 (大阪大学) VHF広帯域干渉計とGLM観測結果との比較研究
- P210 神 慶孝 (国環研) シーロメーターCHM15kの重なり関数補正と信号再校正
- P211 英弘精機株式会社 分光放射計のNIST準拠標準ランプによる校正値とラングレー法による校正値の比較
- P212 木下 宣幸 (気大) 小型ドローンを用いた気温鉛直分布観測の試み
- P213 山地 萌果 (JAXA/EORC) 衛星降水観測によるスペクトル潜熱加熱プロダクト概要と解析結果の紹介
- P214 村田 文絵 (高知大理工) 高知大parsivelと偏波レーダによる背が低い雨の雨滴の特徴の解析
- P215 吉田 智 (気象研) 水蒸気ラマンライダー観測と降水量予測精度向上への試み
- P216 板野 稔久 (防衛大 地球海洋) 境界形状に準拠した座標系を採用した氷晶成長の数値計算
- P217 横田 祥 (気象研) 雲解像アンサンブル実験による積乱雲の発生・発達機構の解明に向けて
- P218 鈴木 賢士 (山口大院) 降雪粒子直接観測によるGPM/DPR降水タイプ分類アルゴリズムの地上検証
- P219 岸川 拓也 (筑波大院生命環境) 多地点LF帯センサによって標定された雷放電点と偏波パラメータの比較
- P220 益子 渉 (気象研) 地上気象データを用いた突風の統計解析 (第2報)
- P221 柴田 清孝 (KUT) 高知県の過去の豪雨解析における再現性の検証
- P222 山崎 拓弥 (首都大院 都市環境) 関東地方での降雪イベント時の低温場の形成に対する地形の影響
- P223 木村 俊介 (東大AORI) 昭和58年7月23日の島根県西部の豪雨の再現実験
- P224 関 庚夕 (名大宇地研) 近畿地方に発生する線状降水システムの雲解像モデルCReSSを用いた再現実験 : 2015年9月1日の降水事例について
- P225 林 修吾 (気象研) モデル高解像度化による夏季不安定性降水の再現性の調査 (その2)
- P226 入口 武史 (気象研) 衛星シミュレータを用いた雲・降水域データの同化・相互検証
- P227 鍋谷 堯司 (気大) 4DEnVarと従来型データ同化手法の低自由度モデルにおける比較
- P228 松岡 大祐 (JAMSTEC) 深層学習による高解像シミュレーションデータからの台風発生予測の試み
- P229 五十嵐 大地 (茨城大理工) 降水補外型予測における修正スキームの検討
- P230 小室 美紗 (JMA) 領域気候モデル用のオフライン湖沼熱モデルの開発

- P231 本谷 研 (秋田大) 積雪深データと診断型積雪モデルによる秋田県内積雪観測アメダスにおける全層積雪密度の季節変化の解析
- P232 春木 優杏 (兵庫県大) 領域気象モデルによるため池が周辺地域の気候に与える影響評価の試み
- P233 志藤 文武 (気象研) 東京都心の地上気温と最下層大気成層状態の季節変化 —北の丸公園と大手町における5年間の観測から—
- P234 亀卦川 幸浩 (明星大) ジャカルタを対象としたWRFの都市キャノピースキームに関する比較実験
- P235 藤井 瑛美 (岡山理大・生物地球) 気候特性からみたウンシュウミカンの至適条件 —瀬戸内海沿岸部を対象にして—
- P236 野村 光春 (電中研) 2016年4月17日に発生したやまじ風の事例解析
- P237 Luis Adriano Chongue (理工学研究科数理環境科学専攻) Stability Parameters, Horizontal Atmospheric Model Resolution and Their Skill to Detect Gale
- P238 石川 裕彦 (京大防災研) 融雪時の顕熱フラックス直接観測
- P239 初塚 大輔 (北大院地球環境) アンサンブル気候予測データを用いた日本周辺における月降水量極端事象の将来変化
- P240 村田 文絵 (高知大理工) インドモンスーンの活発期—休止期サイクルにおけるインド中央部と北東部の関係
- P241 野坂 真也 (気象研) 海面水温の時間解像度が地域気候モデルの再現に与える影響
- P242 久保田 彬恵 (兵庫県立大学) 日本における太陽光発電量・集中太陽熱発電量の将来変化
- P243 初鹿 宏壮 (富山県環境科学センター) 富山における冷暖房デグリーデーの近未来予測
- P244 星野 剛 (北大) 北海道における気候変動による洪水外力の変化
- P245 西澤 慶一 (電中研) 地表面温度の遷移応答予測に適したエネルギー収支モデルの開発
- P246 井上 知栄 (首都大・都市環境) 20世紀前後の期間 (1891~2011年) におけるミャンマー降水量の変化傾向
- P247 木野 佳音 (東大大海研) 軌道要素の変化が大退氷期の気候・氷床変動に与える影響
- P248 浜田 純一 (首都大 都市環境) Pre-YMC観測期間における海大陸域西部の雷活動の日変化
- P249 栗林 正俊 (長野環境保全研) 長野県における降水量変化率の水平分布と標高依存性
- P250 堤 之智 (気象研究所) 富士山の気圧を使った東海地方の対流圏下層の気温トレンド算出の試み
- P251 南口 侑希 (大阪大学) 「平成26年8月豪雨」を対象とした降水の再現と海面水温に対する感度評価
- P252 前田 麻人 (TUS) 2016年及び2017年に東京スカイツリーで測定された都市上空の雲凝結核特性
- P253 相澤 拓郎 (東大気海洋) MRI-ESM2による暫定歴史実験における20世紀中頃の北極海氷変動
- P254 坂 泰志 (三重大院生物資源) 2016年1月の日本の大寒波に伴う北極振動の急激な極性反転と北極海氷の減少
- P255 堀 正岳 (JAMSTEC/IACE) 北極域昇温にともなう寒波と東アジア到達時の環境場について
- P256 高橋 洋 (首都大学東京) 夏季アジアモンスーン (フィリピン) における大気海洋相互作用に隠れたローカルな海面水温の降水への影響
- P257 荒川 隆 (RIST) 陸域統合モデルILSの開発 (第一報)

- P258 東 修平 (高知大理) バングラデシュレーダーで観測された降水システムの特徴
- P259 谷口 博 (神戸高専) 全球非静力学モデルによる水惑星実験 – 熱帯域降水活動の解像度依存性 –
- P260 小山 亮 (気象研) 衛星マイクロ波観測で得られた台風の発達と潜熱加熱の関係
- P261 村橋 究理基 (北大院理) 火星大気境界層高解像度 LES によって得られた強い地表面応力の空間分布
- P262 太田 芳文 (気象研) 雲の三次元放射エネルギー収支の空間解像度依存性
- P263 杉山 弘一 (東大院理) 不純物粒子を含む雲粒の光学特性のランダム配置平均の高速近似計算法
- P264 片桐 秀一郎 (九大応力研) 完全減衰を考慮した CALIPSO 雲マスクおよび雲相識別による雲量
- P265 林 昌宏 (MSC) 非球形氷晶モデルを用いたひまわり8号観測による日射量プロダクトの開発
- P266 秋吉 英治 (環境研) 南米におけるオゾン全量低下と南極渦の移動、プラネタリー波、およびブロッキングとの関係について
- P267 佐藤 光之介 (東理大) 夏季の富士山頂における雲凝結核の特徴
- P268 小林 拓 (山梨大) 船舶用オリオールメータの試験観測
- P269 馬場 賢治 (酪農大環境) モンゴルゴビ砂漠Sainshand付近のバイオエアロゾル集積地における飛散実験について
- P270 清水 厚 (環境研) ライダーとドローンによる地表付近の微粒子鉛直分布観測
- P271 浅井 俊太 (防大) 気象衛星ひまわり8号を用いたエアロゾルとクロロフィル濃度の関係
- P272 表野 宏之 (金沢大院) 能登半島における新粒子生成と雲凝結核特性の関連性
- P273 古賀 聖治 (産総研) 西太平洋から南大洋にかけてのエアロゾル粒子の光学特性

## 大会第3日 [ 11月1日(水) ] 13:30~14:30 ポスター・セッション

- P301 石井 昌憲 (情通研) 地表面散乱を用いた衛星搭載ドップラー風ライダーシミュレーターによる校正検討
- P302 磯田 総子 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのデータ品質管理 ～地表面クラッタ判別の検証～
- P303 末澤 卓 (首都大 システム) フェーズドアレイレーダーおよびNeural Networkを用いた短時間降水予測の初期検討
- P304 小林 隆久 (電中研) 偏波レーダーのRange variationデータを用いた降水減衰特性の推定
- P305 西井 章 (高知大理) 高知大MPレーダーネットワークによる雨量評価
- P306 堀江 宏昭 (NICT) EarthCARE/CPR検証用地上設置W帯雲観測レーダーの開発状況と検証計画
- P307 吉田 幸生 (国環研) GOSAT および GOSAT-2 の短波長赤外プロダクトの進捗状況
- P308 妻鹿 友昭 (首都大システムデザイン) GSMaP 雨量計補正降水マップ(GSMaP Gauge)モデルパラメータの検討
- P309 川村 誠治 (NICT) ウィンドプロファイラ用アダプティブクラッタ抑圧システムの開発
- P310 花土 弘 (NICT) 地デジ放送波を用いた水蒸気量推定手法の研究開発 - 首都圏における多点観測 -
- P311 額 丈晴 (NICT) 地デジ放送波を用いた水蒸気量推定手法の研究開発 - 反射法のための反射体の特定 -
- P312 荒木 健太郎 (気象研) 降雪研究のための市民科学データの観測特性調査
- P313 横山 土実 (筑波大院生命環境科学) 赤外・マイクロ波降水データを用いた、南アジアモンスーン域におけるメソ対流系の鉛直構造解析
- P314 出世 ゆかり (防災科研) Kaバンド偏波レーダーで観測した降雪システムの微細構造
- P315 橋本 明弘 (気象研) 雲物理モデルの多変数化による雲・降水粒子特性の診断
- P316 伊藤 翔星 (京大院理) Phase Field法を用いた水滴の自由振動の計算
- P317 武田 和弥 (兵庫県大院シミュ) 超水滴法による海洋層積雲のシミュレーションと乱流モデルの影響評価
- P318 山下 克也 (防災科研・雪氷) 2016年1月24-25日の長岡・見附大雪時の卓越降水粒子の種類
- P319 瀬口 貴文 (防大地球) 積乱雲の雲頂から飛び上がる雲 ; Jumping Cirrusの観測
- P320 山崎 行浩 (九大院理) DSJRA-55を用いた温帯低気圧に伴う関東地方の竜巻等突風の発生環境場
- P321 佐久間 理絵 (日本大院) 九州地方における冬季降水の出現率
- P322 入江 健太 (学芸大) 2016年台風10号と日本海上の上層寒冷低気圧との相互作用
- P323 稲田 理人 (AORI) 平成25年7月28日島根・山口豪雨の解析
- P324 春日 悟 (新潟大学大学院) 竜巻・突風現象発現もたらす寒冷渦の客観的抽出システムの確立にむけて
- P325 岩下 久人 (明星電気) 地上稠密気象観測データを利用した突風予測手法の汎用性検証
- P326 瀬古 弘 (気象研) 海洋上の水蒸気データの同化実験 (その1)
- P327 金丸 佳矢 (東大 大気海洋研) JAXAスパコン(JSS2)を用いたNICAM-LETKFの準リアルタイムシステムの開発
- P328 山浦 剛 (理研AICS) 混合精度浮動小数点演算を用いた最適な領域浅水波モデル計算

## 大会第3日 [ 11月1日(水) ] 13:30~14:30 ポスター・セッション

- P329 加藤 雅也 (京大工) 雲解像モデルと分布型降雨流出モデルを用いた日々の河川流量シミュレーション
- P330 渡邊 武志 (電中研) 風速時系列データの特徴量抽出手法に関する考察
- P331 原田 裕介 (土木研) 短時間多量降雪に起因する雪崩発生の気象の特徴 –北海道十勝南部での事例–
- P332 松下 拓樹 (寒地土研) 樹林地の雪崩発生に関わる降雪深について
- P333 伊落 貴之 (千葉工大) 東京都心部近郊のWBGTの地点間相違
- P334 川端 康弘 (気象研) 都市気象モデルを用いたヒートアイランドの要因分析
- P335 阿部 康一 (公財) 環境科学技術研究所) 北日本の大気境界層高度や混合層高度の季節変化についての考察
- P336 柴田 清孝 (KUT) 高知のウィンドプロファイラーで解析された海陸風循環高度の季節変動について
- P337 岩井 宏徳 (NICT) 後退する海風前線
- P338 渡辺 力 (北大低温研) 格子ボルツマン法を用いた接地層乱流のLESモデルの構築
- P339 稲飯 洋一 (東北大院理) 成層圏へ流入する大気の起源の変動が成層圏大気の年齢に与える影響
- P340 村山 昌平 (産総研) 飛騨高山森林観測サイトにおける大気中CO<sub>2</sub>濃度及び炭素収支の長期変動
- P341 堤 之智 (気象研究所) 完全雲天時の日射透過率トレンドについて
- P342 早崎 将光 (東大AORI) ストレッチNICAM-SPRINTARSを用いた地上PM<sub>2.5</sub>高濃度時の気象要因解析
- P343 並木 曹汰 (北大院工) 一枚フィルターから大気ブラックカーボンとダストの情報を簡易的に分離・定量する手法の検討
- P344 佐々木 徹 (NIES) ビタミンD生成にかかわる太陽紫外線量の気候値データの作成
- P345 押尾 晴樹 (NIES) GOSATによる植生の太陽光誘起クロロフィル蛍光観測のための輝度オフセット補正
- P346 芳賀 ゆうみ (秋県大) GOSATデータの検証に使用する地上FTSの検定を目的とした航空機観測
- P347 村田 浩太郎 (NIPR) 北極海・ベーリング海・西部北太平洋における大気中氷晶核濃度: 2016年8-10月「みらい」MR16-06航海での事例
- P348 村田 昭彦 (気象研) 地域気候モデルを用いた台風及び非台風降水の将来変化予測 (その1) –解像度依存性の小さい台風抽出手法の開発–
- P349 渡邊 俊一 (気象研) 地域気候モデルを用いた台風及び非台風降水の将来変化予測 (その2) –現在気候再現実験における台風降水の検証–
- P350 山田 賢 (気象庁気候情報) CMIP5データにおける日本の極端降水の現在気候再現性評価に向けて
- P351 阿部 学 (JAMSTEC) CMIP5マルチモデルにおける北極海水変化に伴う雲量・雲放射強制力の変化とその不確定性
- P352 眞崎 良光 (弘前大理工) 将来の気象条件におけるリンゴ日焼け果のリスク
- P353 阿部 紫織 (MCC) RRIモデルを適用した鬼怒川・小貝川における水位・流量・浸水域の気候変化影響評価
- P354 立入 郁 (JAMSTEC) 気候–社会経済システムフィードバックを考慮した温暖化予測に向けて



## 大会第3日 [ 11月1日(水) ] 13:30~14:30 ポスター・セッション

- P355 齊藤 直彬 (気象研) 2010年夏の熱帯大西洋SSTのアジアモンスーンへの影響
- P356 山口 颯太 (新潟大院) 北半球秋季における太平洋域のテレコネクションと南北両半球のパターン間の関係
- P357 岡崎 晴菜 (筑波大・地球科学専攻) 春季日本付近の南北気温傾度に関する解析
- P358 安孫子 悟 (首都大院・都市環境) 日本の降雪深の年々変動の長期変化とその要因
- P359 杉本 志織 (JAMSTEC) 空間解像度によって異なる山岳降水の再現が地上気温に及ぼす影響
- P360 田所 耕平 (KU) カリ長石における鉱物学的特性と氷晶核能との関連性
- P361 中川 清隆 (立正大・地球環境) 指数関数で近似された疑似多方大気において宇宙とのエントロピー交換を最小にする気温減率
- P362 村崎 万代 (気象研) JRA-55CHSを境界条件に用いたNHMによる大気応答 その4 下層雲と逆転層強度の変化
- P363 岩崎 杉紀 (防大地球) 衛星搭載ライダーと雲レーダによって得られた個数密度が少ない大粒子を含む雲の時空間分布
- P364 佐藤 昇 (大阪府教育セ) 地域情報を取り入れた防災教育の進め方
- P365 井田 東吾 (北大院・理 POC) 冬季メキシコ湾流上の顕熱・潜熱フラックスに対する大気応答
- P366 那須野 智江 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルNICAMにおける海大陸の日周期変動の再現性
- P367 平田 英隆 (名大・宇地研) 2016年8月中旬に発生したモンスーン低気圧の発達要因
- P368 片山 卓彦 (東京海上研究所) 確率台風モデルを用いた台風季節予測の可能性調査
- P369 飯田 大晴 (富山大・理) 熱帯域東インド洋における地域による降水特性の違い
- P370 伊藤 享洋 (気象庁) 波数1の渦Rossby波の指数関数成長解の存在
- P371 関口 美保 (海洋大) 狭帯域放射伝達モデル Rstar7 の気体吸収過程の更新
- P372 藤川 雅大 (九大総理工) 多視野角・多重散乱ライダーによる雲域・降水域の識別手法の開発と検証
- P373 多喜 命 (阪大院工) 衛星搭載型レーダGPM/DPRとの比較による気象レーダネットワークの較正

## 講演者索引

### < A >

Abe Koichi (阿部 康一)	P335
Abe Manabu (阿部 学)	P351
Abe Shiori (阿部 紫織)	A163
Abe Shiori (阿部 紫織)	P353
Abiko Satoru (安孫子 悟)	P358
Adachi Toru (足立 透)	D402
Aikawa Takuya (相河 卓哉)	C310
Aizawa Takuro (相澤 拓郎)	P253
Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治)	P266
Ando Yuta (安藤 雄太)	D302
Aoki Kazuma (青木 一真)B	B409
Aoki Makoto (青木 誠)	P101
Aoki Shota (青木 翔太)	P137
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	B106
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	D401
Arai Kengo (荒井 建伍)	B166
Arai Kenichiro (新井 健一郎)	A203
Arakawa Takashi (荒川 隆)	P257
Araki Kentaro (荒木 健太郎)	A211
Araki Kentaro (荒木 健太郎)	P312
Ariyoshi Nozomi (有吉 望)	D159
Asai Shunta (浅井 俊太)	P271
Awazu Taeka (粟津 妙華)	P126
Azuma Shuhei (東 修平)	P258

### < B >

Baba Kenji (馬場 賢治)	P269
--------------------	------

### < C >

Chen Yingwen (CHEN Ying-Wen)	D103
Chiwata Maki (千綿 蒔)	C403

### < D >

Daikai Shinnosuke (大海 慎之輔)	P142
Damiani Alessandro (Alessandro Damiani)	A152

### < E >

Eikouseiki Kabushikigaisya (英弘精機株式会社)	P211
Endo Hirokazu (遠藤 洋和)	A454
Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦)	D210
Enomoto Takeshi (榎本 剛)	C167
Erdenebat Enkhbat (エルデンハット エンフハット)	P166

### < F >

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳)	D409
Fujibe Fumiaki (藤部 文昭)	A314
Fujibe Fumiaki (藤部 文昭)	C459
Fujii Emi (藤井 瑛美)	P235
Fujikawa Masahiro (藤川 雅大)	P372
Fujita Mikiko (藤田 実季子)	D152
Fujiwara Chusei (藤原 忠誠)	A201

Fujiwara Keita (藤原 圭太)	D457
Fukuhara Takaaki (福原 隆彰)	P120
Fukui Shin (福井 真)	D212
Fukushima Azusa (福島 あずさ)	C452

### < G >

Geng Biao (耿 驃)	B168
Go Katsube (勝部 豪)	A461
Goto Daisuke (五藤 大輔)	B212

### < H >

Haga Yumi (芳賀 ゆうみ)	P346
Hamada Atsushi (濱田 篤)	A459
Hamada Atsushi (濱田 篤)	B171
Hamada Junichi (浜田 純一)	P248
Hanado Hiroshi (花土 弘)	P310
Hanato Yusuke (花戸 佑輔)	P165
Hara Keiichiro (原 圭一郎)	P148
Hara Masayuki (原 政之)	D207
Harada Yusuke (原田 裕介)	P331
Haruki Ukyo (春木 優杏)	P232
Hasegawa Akira (長谷川 聡)	D163
Hashiguchi Hiroyuki (橋口 浩之)	P106
Hashimoto Akihiro (橋本 明弘)	P315
Hashimoto Yuki (橋本 侑樹)	C453
Hashino Tempei (端野 典平)	P118
Hashizume Masahiro (橋爪 真弘)	C461
Hatsushika Hiroaki (初鹿 宏壮)	P243
Hatsuzuka Daisuke (初塚 大輔)	P239
Hayano Mariko (早野 真理子)	P204
Hayasaka Hiroshi (早坂 洋史)	P164
Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕)	D314
Hayasaki Masamitsu (早崎 将光)	P342
Hayashi Masahiko (林 政彦)	C107
Hayashi Masahiko (林 政彦)	D467
Hayashi Masahiro (林 昌宏)	P265
Hayashi Shugo (林 修吾)	P225
Higuchi Atsushi (樋口 篤志)	A153
Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦)	C106
Hirata Hidetaka (平田 英隆)	C406
Hirata Hidetaka (平田 英隆)	P367
Hirockawa Yasutaka (廣川 康隆)	B160
Hirose Masafumi (広瀬 正史)	P208
Hiroshige Tsuguti (津口 裕茂)	B151
Hisamatsu Rikito (久松 力人)	A165
Honda Meiji (本田 明治)	C405
Hoque Syedul (Hoque Syedul)	B404
Hori Masahiro (堀 雅裕)	B104
Hori Masatake (堀 正岳)	P255
Horie Hiroaki (堀江 宏昭)	P306
Horinouchi Takeshi (堀之内 武)	C152
Horinouchi Takeshi (堀之内 武)	C153
Hoshi Ryosuke (星 亮輔)	P158
Hoshino Tsuyoshi (星野 剛)	P244
Hotta Hideyuki (堀田 英之)	C162
Hyono Hiroyuki (表野 宏之)	P272

### < I >

Ichikawa Yuiko (市川 悠衣子)	D461
Ichiyanagi Kumpei (一柳 錦平)	P161
Ida Tougo (井田 東吾)	P365
Iga Keita (伊賀 啓太)	C411
Igarashi Daichi (五十嵐 大地)	P229
Ihara Tomohiko (井原 智彦)	C457
Iida Taisei (飯田 大晴)	P369
Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直)	D167
Ikawa Hiroki (伊川 浩樹)	C407
Ikegami Masaaki (池上 雅明)	B406
Imada Yukiko (今田 由紀子)	D154
Imamura Atsushi (今村 淳志)	B161
Imamura Takeshi (今村 剛)	C157
Inada Masato (稲田 理人)	P323
Inai Yoichi (稲飯 洋一)	P339
Inoue Hanako (猪上 華子)	A204
Inoue Tomoshige (井上 知栄)	P246
Iochi Takayuki (伊落 貴之)	P333
Irie Kenta (入江 健太)	P322
Iriguchi Takeshi (入口 武史)	P226
Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之)	C302
Ishida Haruma (石田 春磨)	P207
Ishii Kazuki (石井 和樹)	P145
Ishii Shoken (石井 昌憲)	P301
Ishijima Kentaro (石島 健太郎)	P144
Ishikawa Hirohiko (石川 裕彦)	P238
Ishimoto Hiroshi (石元 裕史)	A408
Ishitsu Naoki (石津 尚喜)	A205
Ishiyama Takahiro (石山 尊浩)	D455
Isoda Fusako (磯田 総子)	P302
Itano Toshihisa (板野 稔久)	P216
Ito Junshi (伊藤 純至)	A302
Ito Takahiro (伊藤 享洋)	P370
Itou Shousei (伊藤 翔星)	P316
Iwabuchi Hironobu (岩渕 弘信)	A407
Iwai Hironori (岩井 宏徳)	P102
Iwai Hironori (岩井 宏徳)	P337
Iwanami Koyuru (岩波 越)	C315
Iwasaki Sugunori (岩崎 杉紀)	P363
Iwashita Hisato (岩下 久人)	A209
Iwashita Hisato (岩下 久人)	P325

### < J >

Jin Yoshitaka (神 慶孝)	P210
Jung Woonseon (Jung WoonSeon)	A105

### < K >

Kadoya Toshiki (門屋 寿樹)	D463
Kamae Youichi (釜江 陽一)	D160
Kamahori Hirotaka (釜堀 弘隆)	D208
Kameda Takao (亀田 貴雄)	B452
Kamijo Kenichi (上條 賢一)	A315
Kamizawa Nozomi (神澤 望)	P153
Kanada Sachie (金田 幸恵)	D405

Kanai Jumpei (金井 惇平)	D453	Kubota Akie (久保田 彬恵)	P242	Morotomi Kazuomi (諸富 和臣)	A208
Kanemaru Kaya (金丸 佳矢)	P327	Kubota Hisayuki (久保田 尚之)	D459	Morotomi Kazuomi (諸富 和臣)	P202
Kanemura Naotoshi (金村 直俊)	B455	Kubota Kohsuke (久保田 匡亮)	B304	Moteki Kosaku (茂木 耕作)	C101
Kanno Yuki (菅野 湧貴)	D303	Kubota Minoru (久保田 実)	P112	Motoya Ken (本谷 研)	P231
Kase Koki (加瀬 紘熙)	D410	Kudo Ami (工藤 亜美)	P209	Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐)	P105
Kashimura Hiroki (榎村 博基)	A404	Kudo Rei (工藤 玲)	A411	Murahashi Kuriki (村橋 究理基)	P261
Kashimura Hiroki (榎村 博基)	C159	Kuji Makoto (久慈 誠)	P147	Murakami Masataka (村上 正隆)	A101
Kasuga Satoru (春日 悟)	P324	Kunishima Yuichi (國嶋 雄一)	A106	Murata Akihiko (村田 昭彦)	P348
Katagiri Shuichiro (片桐 秀一郎)	P264	Kuo Tzuhsien (郭 子仙)	A104	Murata Fumie (村田 文絵)	P214
Katayama Takuhiko (片山 卓彦)	P368	Kuramoto Kiyoshi (倉本 圭)	C163	Murata Fumie (村田 文絵)	P240
Kato Kuranoshin (加藤 内藏進)	A463	Kuribayashi Masatoshi (栗林 正俊)	P249	Murata Kotaro (村田 浩太郎)	P347
Kato Masaya (加藤 雅也)	P329	Kuroda Yuhji (黒田 友二)	D301	Murayama Shohei (村山 昌平)	P340
Katsumata Masaki (勝俣 昌己)	B169	Kusaka Hiroyuki (日下 博幸)	C458	Murazaki Kazuyo (村崎 万代)	P362
Katsuyama Yuta (勝山 祐太)	P149	Kusanagi Hiroshi (草薙 浩)	B162		
Kawabata Takuya (川畑 拓矢)	C306	Kusanagi Hiroshi (草薙 浩)	B163		
Kawabata Yasuhiro (川端 康弘)	P334	Kusunoki Kenichi (楠 研一)	A202	< N >	
Kawai Hideaki (川合 秀明)	D315	Kusunoki Shoji (楠 昌司)	A455	Nabetani Takashi (鍋谷 堯司)	P227
Kawai Yoshimi (川合 義美)	B307	Kusunoki Shoji (楠 昌司)	D161	Nagai Tomohiro (永井 智広)	B311
Kawai Yuta (河合 佑太)	C164	Kuwana Yusuke (桑名 佑典)	D313	Nagano Yoshinori (永野 良紀)	A161
Kawamura Seiji (川村 誠治)	B308			Nagao Takashi (永尾 隆)	B103
Kawamura Seiji (川村 誠治)	P309	< L >		Nagasawa Chikao (長澤 親生)	B312
Kawano Kyosuke (河野 恭佑)	P134	Le Duc (レ デュック)	C305	Nagumo Nobuhiro (南雲 信宏)	B159
Kawase Hiroaki (川瀬 宏明)	D166	Liu Guangyu (劉 光宇)	A402	Nakaegawa Tosiyo (仲江川 敏之)	P155
Kawatani Yoshio (河谷 芳雄)	A451			Nakagawa Kiyotaka (中川 清隆)	P361
Kazumori Masahiro (計盛 正博)	C201	< M >		Nakagawa Masayuki (中川 雅之)	C309
Khatri Pradeep (Khatri Pradeep)	A410	Maeda Asato (前田 麻人)	P252	Nakagawa Yujin (中川 友進)	D168
Kida Tomoaki (喜田 智亮)	P104	Maejima Yasumitsu (前島 康光)	C209	Nakai Sento (中井 専人)	A210
Kihira Akinori (紀平 旭範)	P122	Maesaka Takeshi (前坂 剛)	P206	Nakajima Hideaki (中島 英彰)	B407
Kikegawa Yukihiko (亀卦川 幸浩)	P234	Maki Takashi (真木 貴史)	B201	Nakajima Takashi (中島 孝)	A151
Kikuchi Hiroshi (菊池 博史)	P203	Masaki Yoshimitsu (眞崎 良光)	P352	Nakamura Kazuki (中村 一樹)	B457
Kikuchi Maki (菊池 麻紀)	B101	Mashiko Wataru (益子 渉)	P220	Nakamura Yosuke (中村 要介)	A164
Kikuchi Nobuyuki (菊地 信行)	A159	Masui Hirokazu (舛井 博一)	P152	Nakamura Yusuke (中村 祐輔)	A307
Kimura Shunsuke (木村 俊介)	P223	Matsubara Koji (松原 浩司)	A155	Nakanowatari Takuya (中野渡 拓也)	P163
Kino Kanon (木野 佳音)	P247	Matsumoto Kengo (松本 健吾)	D203	Nakatsubo Maki (中坪 真希)	P135
Kinoshita Masashi (木下 仁)	B152	Matsumura Shinji (松村 伸治)	A453	Nakayama Hideaki (中山 秀晃)	B462
Kinoshita Nobuyuki (木下 宣幸)	P212	Matsuoka Daisuke (松岡 大祐)	P228	Nakayama Hiromasa (中山 浩成)	A303
Kinsohita Takenari (木下 武也)	D466	Matsushita Hiroki (松下 拓樹)	B303	Nakayama Hiroto (中山 尋斗)	D456
Kishikawa Takuya (岸川 拓也)	P219	Matsushita Hiroki (松下 拓樹)	P332	Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫)	D307
Kitabatake Naoko (北島 尚子)	P123	Matsushita Yumi (松下 侑未)	D158	Namiki Sota (並木 曹汰)	P343
Kitahara Takehiko (北原 岳彦)	C155	Mega Tomoaki (妻鹿 友昭)	P308	Naoe Hiroaki (直江 寛明)	A405
Kitamura Yuji (北村 祐二)	A301	Michibata Takuro (道端 拓朗)	D102	Naoi Moeka (直井 萌香)	P157
Kitamura Yuji (北村 祐二)	P139	Min Kyeongseok (閔 庚夕)	P224	Nasuno Tomoe (那須野 智江)	P366
Kobayashi Fumiaki (小林 文明)	A207	Minamiguchi Yuki (南口 侑希)	P251	Nemoto Manabu (根本 学)	B454
Kobayashi Hiroshi (小林 拓)	P268	Minamoto Yuki (源 祐輝)	B403	Ninomiya Kozo (二宮 洗三)	B155
Kobayashi Takahisa (小林 隆久)	P304	Minobe Shoshiro (見延 庄士郎)	D312	Nishi Noriyuki (西 憲敬)	D465
Kobayashi Tomoki (小林 朋樹)	A166	Misaka Ikusei (三坂 育正)	C455	Nishii Akira (西井 章)	P305
Koga Seiji (古賀 聖治)	P273	Miura Haruka (三浦 悠)	A305	Nishii Kazuaki (西井 和晃)	C103
Koike Kana (小池 佳奈)	B157	Miura Haruka (三浦 悠)	A306	Nishimori Motoki (西森 基貴)	P150
Komatsu Kensuke (小松 謙介)	C402	Miyajima Akiko (宮島 亜希子)	B458	Nishizawa Keiichi (西澤 慶一)	P245
Komuro Misa (小室 美紗)	P230	Miyasaka Takafumi (宮坂 貴文)	A457	Nishizawa Tomoaki (西澤 智明)	B313
Kondo Keiichi (近藤 圭一)	C303	Miyazaki Kazuyuki (宮崎 和幸)	B207	Niwano Masashi (庭野 匡思)	D108
Kondo Masayuki (近藤 雅征)	B202	Miyazaki Shun (宮崎 駿)	D411	Noda Akira (野田 彰)	C410
Konishi Hiroyuki (小西 啓之)	C108	Mizuta Ryo (水田 亮)	D151	Noguchi Katsuyuki (野口 克行)	C408
Konishi Hiroyuki (小西 啓之)	P107	Momoi Masahiro (桃井 裕広)	P172	Nohara Daisuke (野原 大輔)	A158
Kosaka Yu (小坂 優)	D310	Mori Atsushi (森 厚)	C412	Nomura Mitsuharu (野村 光春)	B165
Koshin Dai (小新 大)	A403	Mori Shuichi (森 修一)	D468	Nomura Mitsuharu (野村 光春)	P236
Kotake Nobuki (小竹 論季)	B310	Moriyama Tomohiro (森山 知洋)	B460	Nosaka Masaya (野坂 真也)	P241
Kouketsu Takeharu (纈纈 丈晴)	P311	Moroda Yukie (諸田 雪江)	B306	Nozawa Chinami (野澤 千菜美)	P132
Kouyama Toru (神山 徹)	C154			Nozawa Toru (野沢 徹)	A452

< O >

Oda Mayuko (小田 真祐子)	P128
Ogawa Yohei (小川 陽平)	A309
Ogi Akinori (小木 昭典)	B405
Ogohara Kazunori (小郷原 一智)	C161
Ogura Tomoo (小倉 知夫)	D105
Ohata Sho (大畑 祥)	B206
Ohba Masamichi (大庭 雅道)	P130
Ohgaito Rumi (大垣内 るみ)	D106
Ohizumi Mitsuo (大泉 三津夫)	D211
Ohno Yuichi (大野 裕一)	B102
Ohtake Hideaki (大竹 秀明)	A154
Oikawa Eiji (及川 栄治)	P146
Oikawa Hiroshi (及川 博史)	B314
Oikawa Hiroshi (及川 博史)	P201
Oishi Ryouta (大石 龍太)	D107
Oizumi Tsutao (大泉 伝)	P124
Okada Yasuko (岡田 靖子)	D153
Okamoto Hajime (岡本 創)	A409
Okamoto Kozo (岡本 幸三)	C207
Okazaki Haruna (岡崎 晴菜)	P357
Okumura Masayoshi (奥村 政佳)	B456
Onishi Ryo (大西 領)	C307
Onomura Shiho (小野村 史穂)	A206
Oohashi Yukitaka (大橋 唯太)	A304
Oohashi Yukitaka (大橋 唯太)	C454
Orikasa Narihiro (折笠 成宏)	P115
Ose Tomoaki (尾瀬 智昭)	A456
Oshima Kazuhiro (大島 和裕)	D306
Oshio Haruki (押尾 晴樹)	P345
Ota Yoshifumi (太田 芳文)	P262
Otsuka Michiko (大塚 道子)	C203
Oyama Ryo (小山 亮)	P260

< P >

Phermphoonphiphat Ekasit (Phermphoonphiphat Ekasit)	P156
--------------------------------------------------------	------

< R >

Luis Adriano Chongue (Luis Adriano Chongue)	P237
---------------------------------------------	------

< S >

Saito Izumi (齋藤 泉)	A107
Saito Kazuo (斎藤 和雄)	C304
Saito Naoaki (齊藤 直彬)	P355
Saka Taishi (坂 泰志)	P254
Sakai Satoshi (酒井 敏)	A310
Sakai Tetsu (酒井 哲)	B309
Sakai Tetsu (酒井 哲)	P111
Sakuma Rie (佐久間 理絵)	P321
Sakurai Namiko (櫻井 南海子)	B158
Sano Tetsuya (佐野 哲也)	P103
Sasai Takahiro (佐々井 崇博)	B203
Sasaki Toru (佐々木 徹)	P344
Sasaki Youhei (佐々木 洋平)	C165
Sato Kazutoshi (佐藤 和敏)	C104
Sato Konosuke (佐藤 光之介)	P267

Sato Naoki (佐藤 尚毅)	D460
Sato Noboru (佐藤 昇)	P364
Sato Takenori (佐藤 丈徳)	P162
Sato Takuya (佐藤 卓弥)	P114
Sato Yousuke (佐藤 陽祐)	A108
Sato Yousuke (佐藤 陽祐)	B412
Satoh Reona (佐藤 令於奈)	C401
Satoh Shinsuke (佐藤 晋介)	B305
Satoh Takehiko (佐藤 毅彦)	C151
Satoh Tomoko (佐藤 トモ子)	B451
Sawada Yohei (澤田 洋平)	C204
Sawada Yohei (澤田 洋平)	C301
Seguchi Takafumi (瀬口 貴文)	P319
Seino Naoko (清野 直子)	B156
Seki Koushin (席 浩森)	A401
Seki Takanori (関 隆則)	A406
Seki Yohei (関 陽平)	B453
Sekiguti Miho (関口 美保)	P371
Sekine Yudai (関根 祐大)	D309
Sekizawa Shion (関澤 徳温)	D311
Seko Hiromu (瀬古 弘)	P125
Seko Hiromu (瀬古 弘)	P326
Serio Matyuere (Celio Matuele)	P170
Seto Shinta (瀬戸 心太)	B107
Seto Shinta (瀬戸 心太)	P205
Sherriffadano Sam (シエルフ多田野サム)	D305
Shibata Kiyotaka (柴田 清孝)	P221
Shibata Kiyotaka (柴田 清孝)	P336
Shibata Taiga (柴田 大河)	C313
Shibata Takashi (柴田 隆)	B408
Shido Fumitake (志藤 文武)	P233
Shigeno Yosuke (滋野 陽介)	P119
Shimada Teruhisa (島田 照久)	A162
Shimada Udai (嶋田 宇大)	P169
Shimadera Hikari (嶋寺 光)	P131
Shimizu Atsushi (清水 厚)	P270
Shimoyama Kou (下山 宏)	P138
Shindo Eiki (新藤 永樹)	D101
Shinohara Mizuki (篠原 瑞生)	D162
Shiogama Hideo (塩竈 秀夫)	D155
Shiraishi Koichi (白石 浩一)	A311
Shiraishi Koichi (白石 浩一)	P141
Shoji Yoshinori (小司 禎教)	P110
Shusse Yukari (出世 ゆかり)	A212
Shusse Yukari (出世 ゆかり)	P314
Sudo Kengo (須藤 健悟)	B210
Sueki Kenta (末木 健太)	P116
Suetou Naho (末藤 菜保)	A460
Suezawa Taku (末澤 卓)	P303
Sugawara Hirofumi (菅原 広史)	B205
Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦)	C160
Sugimoto Shiori (杉本 志織)	P359
Sugiyama Hirokazu (杉山 弘一)	P263
Sunaga Tomohiro (須長 智洋)	P129
Suzuki Chieko (鈴木 智恵子)	P160
Suzuki Hiroto (鈴木 博人)	B301
Suzuki Keisuke (鈴木 啓助)	D206
Suzuki Kenji (鈴木 賢士)	P218

Suzuki Shin (鈴木 臣)	P171
Suzuki Shinichi (鈴木 真一)	B302
Suzukiparker Asuka (鈴木ハニーカー 明日香)	C456

< T >

Tachibana Yoshihiro (立花 義裕)	C102
Tachiiri Kaoru (立入 郁)	P354
Tadokoro Kohei (田所 耕平)	P360
Tajiri Takuya (田尻 拓也)	A102
Taka Yuya (高 裕也)	D165
Takagi Masahiro (高木 征弘)	C158
Takagi Seiko (高木 聖子)	P173
Takahashi Chiharu (高橋 千陽)	D458
Takahashi Hiroshi (高橋 洋)	P256
Takahashi Naoya (高橋 直也)	D464
Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏)	B173
Takahashi Tsuneya (高橋 庸哉)	D205
Takahashi Yoshiyuki (高橋 芳幸)	C166
Takakuwa Kinuka (高桑 衣佳)	B459
Takami Kazuya (高見 和弥)	P121
Takamura Mao (高村 真央)	C156
Takasaki Yoshinori (高咲 良規)	B154
Takasaka Daisuke (高須賀 大輔)	D462
Takayabu Izuru (高薮 出)	D209
Takayabu Yukari (高薮 縁)	B170
Takeda Kazuya (武田 和弥)	P317
Taki Mikoto (多喜 命)	P373
Tamori Chikaya (田盛 智翔也)	D403
Tanahara Shinya (棚原 慎也)	C314
Tanaka Hiroshi (田中 博)	C409
Tanaka Kenji (田中 健路)	B153
Tange Suguru (田家 卓)	C460
Taniguchi Hiroshi (谷口 博)	P259
Terao Toru (寺尾 徹)	C462
Terao Yukio (寺尾 有希夫)	B204
Tobo Yutaka (當房 豊)	A103
Tochimoto Eigo (栃本 英伍)	B164
Tomiya Yoshiyuki (冨山 芳幸)	B463
Toyoshima Koichi (豊嶋 紘一)	P108
Tsautsumi Yukitomo (堤 之智)	P250
Tsautsumi Yukitomo (堤 之智)	P341
Tsuchida Tomoyasu (槌田 知恭)	D202
Tsuji Hiroki (辻 宏樹)	A458
Tsuji Hiroki (辻 宏樹)	D404
Tsujino Satoki (辻野 智紀)	P167
Tsukijihara Takumi (築地原 匠)	C404
Tsutsumi Hayato (堤 勇人)	P109

< U >

Uchiyama Tsuneko (内山 常雄)	D204
Udagawa Yusuke (宇田川 佑介)	A156
Ueda Hiroaki (植田 宏昭)	D157
Uekiyo Naotaka (上清 直隆)	C205
Uno Fumichika (宇野 史睦)	A157
Ushiyama Tomoki (牛山 朋来)	C211
Ushiyama Tomoki (牛山 朋来)	C312

< W >

Wada Akiyoshi (和田 章義)	D407
Wada Naoto (和田 直人)	B461
Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝)	C208
Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝)	P151
Wang Zhe (王 哲)	A312
Watanabe Akira (渡邊 明)	B411
Watanabe Shunichi (渡邊 俊一)	P349
Watanabe Takanori (渡邊 貴典)	A313
Watanabe Takanori (渡邊 貴典)	P136
Watanabe Takeshi (渡邊 武志)	B105
Watanabe Takeshi (渡邊 武志)	P330
Watanabe Tsutomu (渡辺 力)	P338
Watarai Yasushi (渡来 靖)	P159

< Y >

Yabuki Masanori (矢吹 正教)	B410
Yamada Hiroyuki (山田 広幸)	B167
Yamada Ken (山田 賢)	P350
Yamada Kyohei (山田 恭平)	C105
Yamada Kyohei (山田 恭平)	C311
Yamada Yohei (山田 洋平)	D454
Yamada Yoshinori (山田 芳則)	P117
Yamagishi Takuya (山岸 拓矢)	P140
Yamaguchi Kazuki (山口 和貴)	A308
Yamaguchi Munehiko (山口 宗彦)	C308
Yamaguchi Munehiko (山口 宗彦)	D412
Yamaguchi Sota (山口 颯太)	P356
Yamaji Moeka (山地 萌果)	B172
Yamaji Moeka (山地 萌果)	P213
Yamamoto Akira (山本 哲)	B315
Yamamoto Haruhiko (山本 晴彦)	D201
Yamamoto Munehisa (山本 宗尚)	P113
Yamanouchi Takashi (山内 恭)	D308
Yamasaki Shota (山崎 聖太)	D452
Yamasaki Yukihiro (山崎 行浩)	P320
Yamashita Katsuya (山下 克也)	P318
Yamashita Koji (山下 浩史)	C202
Yamashita Yousuke (山下 陽介)	B209
Yamaura Tsuyoshi (山浦 剛)	P328
Yamazaki Akira (山崎 哲)	C206
Yamazaki Koji (山崎 孝治)	D304
Yamazaki Takuya (山崎 拓弥)	P222
Yanase Wataru (柳瀬 亘)	D451
Yasuda Akari (安田 朱里)	P133
Yasunari Teppeij (安成 哲平)	B401
Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代)	A462
Yokota Sho (横田 祥)	P127
Yokota Sho (横田 祥)	P217
Yokoyama Tsuchimi (横山 土実)	P313
Yoneda Chikako (米田 智佳子)	C451
Yoshida Akira (吉田 聡)	D164
Yoshida Kenji (吉田 健二)	A160
Yoshida Kohei (吉田 康平)	D156
Yoshida Mayumi (吉田 真由美)	B211
Yoshida Ryuhei (吉田 龍平)	P154
Yoshida Ryuji (吉田 龍二)	D408
Yoshida Satoru (吉田 智)	P215

Yoshida Yukio (吉田 幸生)	P307
Yoshino Jun (吉野 純)	D406
Yoshioka Hiroaki (吉岡 大秋)	P168
Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美)	C210
Yukimoto Seiji (行本 誠史)	D104
Yumimoto Keiya (弓本 桂也)	B208

< Z >

Zaizen Yuji (財前 祐二)	P143
Zhang Daizhou (張 代洲)	B402